

会長あいさつ

社団法人宮陵会 会長 狩野七郎



一般社団法人への移行の実現に向けて

東日本大震災から1年を経ても、復興は遅々として進まないもどかしさを覚えますが、そのことは、被害があまりにも大きかったことを示しているように思います。今なお2千名を超える行方不明者がおられ、20万人を超える避難生活者がいるという状況は、復興が決して生易しいものではないことを物語っています。しかし、この困難にひるむことなく、国民が力を合わせて一日も早い復興を実現できるように、一人ひとりが努力しなければならぬと考えております。

被災した三県には、宮陵会会員の首長が4名おります。佐藤雄平福島県知事、本田敏明岩手県遠野市長、亀山紘宮城県石巻市長、藤田幸治福島県棚倉町長です。

大震災から半年を経た昨年9月、被災地を視察し、4名の首長に宮陵会からお見舞金をお渡しし、激励してきました。視察できた被災地は言葉では言い表せない心痛むばかりの状況でした。そうした大きな困難の中で、先頭に立つて奮闘している4名の首長に、逆に励まされる思いでしたし、大変に誇りに思いました。改めて4名の首長の活躍を期待します。

さて、平成24年度は、いよいよ定款を変更し、一般社団法人認可申請を行う時となりました。

さる2月25日開催された平成23年度第2回代議員会で、定款の変更案が原案通り承認され、さらに総会運営規則など一般社団法人認可申請に必要な諸規定やその他の案件もすべて承認されました。

今後の予定では、5月の総会で承認を得て、認可申請を行うとともに新定款のもとで代議員選挙を行うこととなります。

総会が成功裏に行われますよう、会員皆様の御協力をお願い申し上げます。

◆
ところで、現在の定款では代議員に「支部別代議員」が規定されていますが、変更される定款には「支部」の規定がありません。このことについては、昨年10月に開かれた全国支部長会議で説明し議論していただきました。代議員は選挙で選ぶことになり、各地域支部から代議員が選出されるということにはならなくなります。定款に「支部」を規定すると、本部の会計と連結させる必要があるなどの反面、規定しない

不利益は、支部名に「一般社団法人」という文言を付けることができないことくらいですので、定款に「支部」組織については記載しないことにしました。

◆
支部の活動が宮陵会を支える源であり、地域支部の一層の活性化が図られなければならないと考えます。そのためには、若い世代の会員の参加が不可欠です。仕事と家庭とに忙しい現役世代に各種行事に参加してもらうことは容易ではないと思いますが、各支部において智慧を絞って欲しいと願っております。

◆
宮陵会の目的は、神奈川大学の発展を後援することにあります。学生が学業や課外活動で活躍し、教員が研究と教育において成果を上げて有為な社会人を送り出すことを支えることです。大学も創立百周年に向けて、さまざまな取り組みをしています。教育の質の向上、学部の再編成、国際交流の拡充など、具体的に進展しています。会員一人ひとりの活動が大学の評価に関わっていることを自覚し、ゆるぎない宮陵会を建設するために、会員の皆様のご活躍とご協力を重ねてお願い申し上げます。

理事長あいさつ

学校法人神奈川大学理事長 伊藤文保



宮陵会と大学・変らない強い絆で

宮陵会の皆様にはお元気で過ごしたことと存じます。日頃さまざまなかたちで学生諸君へ多大なご支援をいただいております。誠にありがとうございます。また、大学当局に対しても、諸行事への協賛など多面的にご支援、ご協力をいただき、重ねてお礼申し上げます。お陰で、社団法人宮陵会狩野会長はじめ役員の皆様とも円滑な関係を結ばせていただいております。私としても更なる連携強化のために力を尽くしてまいりたいと思っております。

◆ 昨年十一月には、東北ブロック（鶴岡市）会議にお招きいただきました。被災地の支部の皆さんそれぞれにご心労もおありのはずなのに明るく振まっておられる姿に接し、自らが励まされる思いでありました。校友として機微に触れた交流をこれからも大切にしていきたいと思っております。ありがとうございます。

◆ 東日本大震災から一年が過ぎましたが、今なお報道の中心は震災関係が占めており、これからの復旧、復興への道のりの長さや困難性が伺われるところだ。本学としては、被災学生に対する経済的支援のみならず、全国的に学生を擁する総合大学として、また、大学の踏まえるべき公共的な責務を果たす立場から社会貢献の心を忘れずに取り組んでまいりたいと思っております。

また、今冬も日本海側を中心とした地域では空前の大豪雪に見舞われ大きな被害が発生しました。被害に遭われた校友、ご親族の皆様にご心からお見舞いを申し上げます。

◆ 学園の近況をご報告します。

◆ ご案内のとおり神奈川大学は今、創立百周年（二〇二八年）に向けて、総体としての教育の質の向上を図るべく、教学、法人力を合わせて精神的に取り組みを進めています。わけでも法人として意欲的に取り組むべきテーマは、横浜キャンパスマスタープラン（施設整備計画）の推進です。教育施設や学生スペースにゆとりを与える、分散化している学部・学科・研究所等の集約化、図書館を核とした新たな学習機能の強化、歴史文化の継承と地域環境との調和、などの諸課題を解決し、新たな自立的成長支援を期待できる学習環境「メディアアテックキャンパス」の実現をめざします。3・4号館跡地での「新3号館」の建設も始まりました。数年後には、マスタープランのコンセプトに沿ったかなり垢抜けた横浜キャンパスのイメージを皆様にご覧いただけるものと思っております。

◆ 「米田吉盛教育奨学金」につきましては継続的なご支援をいただいております。従来の経済的支援に止ま

らず、学術・文芸・スポーツ等の自己実現、成長支援の分野にも活用をはかっており、総体として、年約一五〇〇人の学生のバックアップを行っております。

◆ また、短期的な取り組みとして、この冬から、「神奈川大学東日本大震災支援募金」をお願いしております。被災学生に対する継続的な支援、被災新生への経済的支援、そして被災地へのボランティア活動の火を絶やさない、こうした考え方のもとに、来年三月までを期間として募っているものです。皆様のご協力をお願いいたします。

◆ さて、先の評議員会・理事会において、平成24年度予算が承認、決定されました。

◆ 昨年、学園の「中長期財政計画」を策定しご承認をいただいたところですが、新年度予算はそれに沿いつつ将来構想中長期実行計画の実現をめざしてまいります。

◆ おわりに、私事ではありますが。理事長に再任いただき、三ヶ月目にして病みました。学園の皆さんには、一月、二月の間大変ご迷惑をかけ、今なお自身ままならない状況にあります。宮陵会の皆様には大変拙ないごあいさつとなりましたが、ご容赦のほどよろしくお願い申し上げます。皆様もご自愛下さい。

学長あいさつ

神奈川大学 学長 中島三千男



三年連続の志願者増・二年連続の三万人台を確保

皆様こんにちは。学長の中島でございます。日頃より宮陵会の皆様には大変お世話になっております。心より御礼申し上げます。

例年、この紙面では一年間の教学の取り組みを報告しておりますが、今回もそれに倣い、二〇二一年度の活動報告を行いたいと思います。

さて、二〇二一年度は「中期実行計画」の実践と震災対応、この二つの課題に全力をあげて取り組めます。「宮陵会報」九二号、二〇二一年七月二十九日号と述べましたが、まず「中期実行計画」の実践」という点では、第一に「教育の質の向上」という点がありました。この点については、FD（講義内容の質の向上）と学生支援を二つの柱とする教育支援センターの設置準備が進められ、いよいよこの四月から動き出します。とくに学生支援では両キャンパスで「KUSクエア」が設けられ、学生支援スタッフ（職員・学生・学習相談員）が常駐し、「何でも相談窓口」として学生の様々な相談に応じると共に、文章表現力（国語）や数学、英語などについて、個別に継続的な学習支援を行います。学生の質の多様化という新しい課題に対応するものです。

◆ 第二に国際化ということですが、二〇二一年度は国立台湾大学、サンパウロ大学、アストラハン大学（ロシア）、タスマニア大学（オーストラリア）、遼寧大学など九大学と新たに協定を結び、これで協定校は三四校となりました。また交換留学生は国立台湾大学二名、復旦大学三名（院）、清華大学二名（院）ヴェネツィ

ア・カ・フォスカリ大学二名、デンマーク王立アカデミー建築大学二名（院）など計一六名で昨年の二倍に増えました。まだまだ数は少ないですが、一人一人の留学生が、受入れ学部・学科の多くの学生に大きな刺激を与えています。また、一般の外国人留学生も学部七二名、院二五名とそれぞれ約二倍増え、計九七名が入学して来ました。この結果留学生は学部・院併せて二〇二名となりこの四年間では最も多い数となりました。但し、受入れ留学生の拡大に比して、海外に出て行く学生の数は全体として二四〇名と横ばいが続いています。現在秋入学の問題がマスコミを賑わしていますが、本学にとっても派遣学生の増大を含む国際化への対応は益々焦眉の課題となっています。

◆ 第三に「理学部・工学部の再構築」と志願者数についてです。本年四月より、理学部・工学部が新しく再構築されますが、おかげさまで、理・工の両学部は全国的な理系人気にも乗って、今年度の入試で、前年比一五〇〇名と大きく志願者を増やし、ひとまずホッとしています。他方、全国的な「文低」の傾向は本学にも及び、文系全体としては八〇〇名の減となりました。それでも差し引き七三〇名増の三〇七三八名の志願者を獲得する事が出来ました。三年連続の志願者増、二年連続の三万人台の確保は、関東東地区の主要私大三〇大学中、半数以上が志願者を減らしている中でまずまず健闘したといえましょうが、文系志願者の回復策を含めてしっかりと対策を立てて来年度に臨みたいと思います。

次に「震災対応」の課題について見ていきたいと思います。まず、被災した学生に対する経済的支援として約五〇〇人の学生に約三億五千万円の支援を行いました。この支援は原則として来年度も継続します。また、復興支援としては四月末から始めた「東北ボランティア駅伝」は二月現在一三〇〇人の学生が参加しました。この数はボランティア業界で使う、延べ人数で言いますと五〇〇〇名という大変な数になります。被災地の支援に行った学生さんたちですが、逆に被災者や市民から感謝や激励の言葉をいただき、多くの学生が、自分の生きる意味や自分に対する自信を貰って帰り、学業を含む大学での過ごし方の真摯な反省とこれからの決意を語っています。また、大学の研究教育機関としての貢献では、日本常民文化研究所や大学院歴史民俗資料学研究所さらには工学部の建築学科や法学部、経済学部の先生方がそれぞれ「自分の専門の分野を生かして大学院生、学生を引き連れて被災地の復興に取組みました。こうしたボランティア活動はマスコミにも大きく取り上げられ、この一年にテレビ神奈川、FM横浜各二回、新聞雑誌は一八回と本学の知名度を揚げるうえでも大きく貢献しました。

以上、二〇二一年度に取り組んだ二つの課題、「中期実行計画」の実践」と「震災対応」についてみてきました。震災は一年を経過しましたが、復興には程遠い状況です。二〇二一年度も基本的にこの二つの課題を受け継いでやっていかなければなりません。引き続きの御支援をお願い申し上げます。

より健全で活動的な組織を目指して

平成23年度第2回代議員会を開催

平成24年2月25日(土)午後2時30分から4時30分まで神奈川県
16号館セレストホールにて代議員総数395名の内、出席125名
委任状出席197名の計322名の出席を得て代議員会が開催され
ました。武笠健次代議員会議長の議事進行により、第1号議案社団
法人宮陵会定款の一部変更について、第2号議案一般社団法人神奈
川大学宮陵会総会運営規則の制定並びに社団法人宮陵会定款施行規
則の廃止について、第3号議案関連規則・規程制定並びに一部改正
等について、第4号議案一般社団法人への移行認可申請について、
第5号議案代議員選挙の実施について、第6号議案付帯決議につい
て、第7号議案平成24年度事業計画及び収支予算についてが審議さ
れ、質疑応答の後、原案どおり承認されました。
その後、午後4時30分から5時30分まで、山形県在住の歌手加藤公
亮さん(平成4年経済卒)による、東日本大震災復興支援コンサート
を行いました。その後、出席者による懇親会を行い、予定の日程を
終了しました。



法人格等検討その後の経過

政府の公益法人制度改革に伴い、改革関連3法(略称一般社団法、公益認定法、整備法)が施行された平成20年12月1日から5年以内(平成25年11月30日まで)に移行申請を行政庁に行い公益法人への公益認定あるいは一般法人への移行認可を取得しなければなりません。移行期間の終了までにこの移行申請を行わなければ、法人は、解散することになります。また、一般法人を選択する場合には、純資産に相当する公益目的財産額を公益的用途に支出する公益目的支出計画を作成し、行政庁の認可を得ることが必要です。

本会では、法人格等検討特別委員会を設置し、一般社団法人もしくは公益社団法人のいずれを選択するか、検討を行ってきましたが、その答申を受け、平成22年度第2回代議員会並びに平成23年度通常総会におきまして、「法人の移行申請の方向性に関する件」が決議され、一般社団法人への移行を目指すことになりました。

その後、この決議内容にもとづき、同年10月15日・16日開催の全国支部長会議の全体会議及び意見交換会でいただきました貴重なご意見等も踏まえながら、事務局で作成した原案を三役会で鋭意検討のうえ、数度にわたる理事会で審議を重ねて参りました。その結果、平成23年度第2回代議員会の承認を受けて、平成24年度通常総会において、移行申請に必要な定款の変更案その他の事項

項についてご審議頂くことになりました。

総会におきまして、ご承認いただき、神奈川県へ一般社団法人移行認可申請を行う予定です。同時に、一般社団法人移行後の代議員を選出します代議員選挙を予定しております。

なお、本会が、一般社団法人を選択しましたのは、公益社団法人に必要とされる公益目的事業比率50%以上を継続して達成が困難であること、収益事業を行っていないため、税制面で大きな不利益がないこと等であります。

一般社団法人に移行する場合には、移行時に保有する資産(貸借対照表の正味財産の部に計上すべき額)は、これまでの公益社団法人として取得した資産(公益目的財産額)とされ、公益のための事業に費消する必要がある、その計画(公益目的支出計画)を策定し、行政庁の認可を得ることが必要です。

公益目的支出計画は、以下の内容で予定しておりますが、認可申請に伴い県の指導等により、変更することがあります。

- ①対象事業 現在の実施している事業の内、次の事業を対象事業とします。
 - 継続事業1 神奈川大学及び神奈川大学大学院の在学生に対する奨学金給付事業
 - 継続事業2 神奈川大学指定寄付金「米田吉盛教育奨学金」「教育振興基金」
- ②実施期間 9年間

女性会員のついで

平成24年3月11日

食べて、話して、また食べて。あつという間に時は過ぎる！

毎年、ご好評をいただいているイベント「女性会員のついで」ですが、今年は、「多くの女性会員に参加していただきたい。また、子ども連れOKで楽しめる企画とすることで、若い会員の方々にも参加していただきたい。」と考え、「フルーzingしながらケーキバイキングを楽しむ」という企画に決定しました。

当初、募集定員を40名に設定していましたが、お子さまやお母さまと一緒に参加したいとのお申し込みが含め、総勢37組45名の申し込みがありました。抽選も考えたのですが、宮陵会としては、予算を若干オーバーしてでも全員の方に参加していただきたいとの結論となり、結果、当日は参加者全員の方が、集合時刻厳守で集まりました。

当日は、朝のうち小雨がぱらついていたのですが、午後のフルーzing時には青空が広がり、また、寒さも和らぐ絶好のお天気となりました。

おりしも、一年前の3月11日は、東北地方で大震災が起こった日で

あり、船上で汽笛にあわせて黙とうを行い、亡くなられた方々のご冥福をお祈りしました。

大塚婦人部委員長の挨拶、宮陵会佐藤専務理事によるソフトドリンクでの乾杯の後は、女性会員の「パワー全開」です。ケーキを食べて、お友達との会話を花を咲かせる。そして記念撮影をし、さらにケーキを食べてからデッキに上がりフルーzingを楽しみ、また会場に戻ってデザートを食べ話すと大忙しでした。

最後に、平能宮陵会副会長より遠方から参加された方、最高年齢の方、お子さま連れの方、お母さまと参加された方などのご紹介をさせていただきます。あつという間に時間が過ぎ、船が港に戻り、楽しい「ついで」の時間は、終了となりました。

お天気にも恵まれて、久々に旧友と会い会話も弾み、皆さんの顔が晴れ晴れとしている印象をうけました。また、このような集まりを企画してお楽しみいただければ…と思いました。

婦人部では、これからもこのような企画を開催してまいります。ご要望等ございましたら、ぜひ、宮陵会事務局まで、ご連絡ください。

またの機会にお会いできますことを楽しみにしております。

第20回全日本大学
女子サッカー選手権大会

神大イレブン

念願の初優勝!!

石積 勝さんに聞く

神奈川大学・女子サッカー部長

Masaru Ishizumi

2012年1月5日、東京国立競技場で開催された、第20回全日本大学女子サッカー選手権に出場した神奈川大学女子サッカー部は、決勝で日本体育大学と対戦。

延長戦の末1対1で引分け、史上初の両校同時優勝になり、創部以来初の快挙を成し遂げました。

——初優勝おめでとうございます。優勝された瞬間はどんなお気持ちでしたか？

正直言って、引分けで終了するとは思っていませんでしたので、ポカインとした間がありました。少し時間が経ってから、じわっと喜びがこみ上げてきましたね。

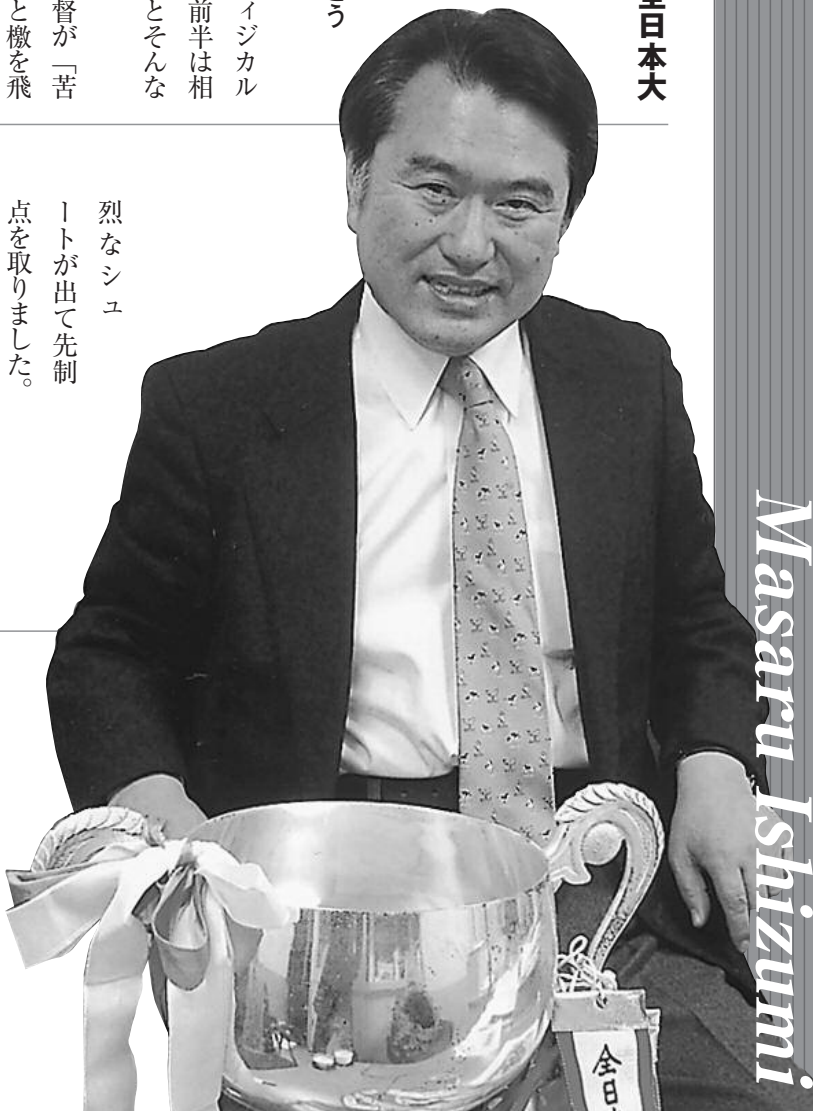
主将としてチームを引っ張ってきた長田いづみ選手が「うれしいけれど悔しい」と言っていました。どの選手もみんな同じ気持ちだったと思います。でも初優勝の味は格別のものがありますね。

——決勝戦のゲームの展開はどうでしたか？

日本体育大学に比べ、フィジカル面では見劣りしましたね。前半は相手の攻撃を耐え抜く、ずっとそんな状況でした。

ハーフタイムで、鎌田監督が「苦しかった練習を思い出せ」と檄を飛ばしました。私は「アラート」（気をシャープに、気を抜くな）と選手たちに呼びかけました。

前半耐え抜いたことで、チャンスは来るだろう、と予想はしておりました。後半16分にDF大谷選手の強



烈なシュ

ートが出て先制点を取りました。

その後29分に追いつかれましたが、試合を支配していたのは神大だったので、それほど心配はしていませんでした。

延長に入り、立て続けにシュートを打ってもゴールが遠く、残念なが

ら引分けになってしまいました。勝てた試合だと、チーム全員が思っていたので、先程の主将の「悔しい」という言葉は、誰もが思っていたことだと思えます。

——この好成績の要因は何ですか？

鎌田監督は、「選手層は薄く、個々のレベルは高くないが、4年生を中心に良くまとまっていた」とおっしゃっていました。私もまったく同感です。

本学は極端に強引なスカウト活動をしてきたわけではありません。高校生のときに目立った活躍をしていた選手は、全日本をずっと勝ち続けてきた日体大や、最近強豪の仲間入りをした早稲田大学などに行ってしまう。だから、うちは、ごく普通のサッカー好きの選手たちの集まりなんです。それをここまでにしたのは、やはり監督・コーチの指導力のたまものと言っても過言ではありません。

◆自ら考えて行動する

飛躍の要因の一つは、「当たり前前」のことを当たり前にやる」「自ら考えて行動すること」の2つを基本方針にしたことだと思います。

社会に出てからも自立した人間になること——サッカーだけでなく学業・生活態度を含めたバランスの取れた人間に育ってくれること——いわば「人間力」を育てることを目標にした指導を行っています。

二つ目の要因は、豊富な練習量です。ただサッカーが好きだけでは、楽しいかもしれませんが、試合には勝てません。他チームと同じ練習量

では、他チームを超えることはできません。だから2倍の練習量をこなして初めて勝負になるんだと思っています。

この二つがうまくかみ合ったことで、神大女子サッカー部は強くなってきたんだと、私は信じています。2倍の練習では、勉学の時間などに影響はできませんか。

それは部員たちは大変だと思えますよ。でも両立はできますし、実際に、部員たちはそれを実践してきました。

嬉しい話を一つ紹介させてください。昨年卒業したある部員が、教師になりたいと教職課程を専攻し、教員免許を取りました。その部員は、岡山県の高校で英語教師となり、なんと、今大会のベスト4に進出した吉備国際大学のコーチもしていたのです。

もし準決勝で勝ち上がったなら、鎌田監督との師弟対決になったわけですが、勉学とスポーツの両立を見事に成し遂げ、社会に羽ばたいたこのサッカー好きの卒業生の姿を見て、私はとても誇りに感じました。

卒業後にサッカーを続けるのは、毎年数人です。しかし、この大会を経験した部員たちがサッカーの聖地、国立競技場で優勝できたことは、生涯忘れ得ぬ思い出になるでしょう

し、卒業をして普通の社会人になったとき、必ずこの経験をいかせる時があると思っています。

部長の立場ですと環境整備等、後方支援なども大変ですね。

発足時は、部員は数名しかいませんでした。グラウンドは、間借りしていた土のグラウンドからのスタートでした。

その後、徐々に部員も増え、チームも強化されてきた中、2006年には、湘南ひらつかキャンパスに人工芝のサッカー場を開設することができました。これにより、今まで以上に実戦的な練習に取り組む環境ができたと思います。

日本一になったことで、今後他校のマークが厳しくなります。常勝するには、さらなる努力が必要だと思いますが、いかがですか？

基本的には、先程お話しした「人間力」を鍛えていくこと。勝ち続けていくには、メンタルな面も大切な要素になります。そして豊富な練習量。この二つのスタンスは変えませんが、ただ、スカウト活動も強化していかないと常勝チームになることは難しいと思っています。

最後にこれからの抱負をお願いします。

先日、部員を集めた際、感じたことなんです、部員たちの顔が、自

信のある顔つきに変わっていたんですね。この優勝に浮かれるのではなく、さらなる一歩のために前を見つめる姿は、きっとサッカー部の伝統につながっていく新たなスタートになるんだなあと感じました。

※女子サッカー部を指導しているのは、鎌田俊司監督、鎌田路代コーチです。お二人については、2年前の準優勝時に、会誌59号で紹介しています。

プロフィール

(編集委員 間中 晟)

石積 勝

神奈川大学副学長、
KU 東北ボランティア駅伝 統括
1950年生まれ

■座右の銘

繰り返し 繰り返し
繰り返し試みよ！

■趣味

ゴルフ(今年1月6日、人生初の
ホールインワン)

女子サッカー部 沿革

- 2001年 創部
- 2002年 関東大学女子サッカーリーグ1部昇格
- 2005年 部長を鎌田章名誉教授から石積勝教授に引き継ぐ
- 2006年 第15回全日本大学女子サッカー選手権大会 3位
- 2010年 第18回全日本大学女子サッカー選手権大会 準優勝
- 2012年 第20回全日本大学女子サッカー選手権大会 優勝

一つ一つの積み重ねで築き上げた大きな成果。

小澤俊朗さんに聞く

吹奏楽部音楽監督

昨年2011年10月に開催された第59回全日本吹奏楽コンクールで3年連続通算24回目の金賞に輝いた吹奏楽部。78年にはじめて指揮をされ、いきなり金賞受賞。神大吹奏楽部を全国の大学の頂点に導き、以来34年間、その地位を維持し、指導してこられた小澤俊朗音楽監督にお話を伺いました。

— 神奈川大学吹奏楽部の指導をしていただくことになったきっかけはなんですか？

わたしは、当時、千葉県立銚子商業高校（全国大会5年連続金賞受賞の実力校）で指導をしていました。ある時、その高校と神大の打楽器を指導されていた井上文子先生に誘われて練習を見に来たのがきっかけですね。

神大の吹奏楽部は当時すでに力がありました。金賞を取る力があるのに銀、銅止まり。力はあるのに自信がない。そのころは、指揮もトレー

ナーも全て学生で運営していたのです。そのようなときに、当時吹奏楽部の相談役だったOBの小野宗一さんから指導していただけないかと頼まれたのです。それで「彼らに自信を持たせるため一年だけ」ということでお引き受けし、金賞獲得となりました。二年目はないはずだったのですが、当時部長だった佐藤進さん（東白楽駅前のセントラル楽器現社長）から「何とかこれからも金を取り続けたい」と頼まれました。私が初めて指揮をして金を取れた翌年は、4年生が卒業し、メンバーがか

なり少なくなってしまうという事実。それを乗り切るためということと再度指揮を引き受けることとなり、幸い、選曲などの作戦がうまく運び、再び金を取ることができました。

今は、佐藤さん達当時のメンバーは、初めて金賞を取ったメンバーというところで「初金会」と名のついているんですよ。「初金会」の学生達は非常に熱心でしたね。何か採め事が

あると自宅にまで相談に来ました。でも、当時の学生は汚くてね。（笑）上がるときに「足をきれいにしておらないしなさい」といわなければなら



Toshio Ozawa

くて銭湯に行かれないというんです。銭湯の終わる時間の方が早い。当時は、下宿にお風呂なんかありませんから。

——二年連続金となると、またぜひ続けてほしいということになりますね。

そうですね。しかし、当時は今のように部長が大学の教員で、大学職員の顧問などの指導者がいるという体制ではなく、組織としては弱く、運営がうまくいっていませんでした。絶えずいざござがありました。

三年目、学生にはそのようにいざござがあつては指導できない、と言いつ渡しました。当時は学ランを着ている学生もいまして、応援団のような意識の学生もいて、練習場になっている音楽室の出入りに最敬礼をする学生もいましたね。しかし、私は、吹奏楽部は応援団ではなく、音楽というジャンルの文化部として育てたいと思つていたので。

そこで、きちんと大学の教員に部長をお願いし、組織作りから始めることを教えました。吹奏楽は、個人ではなく集団で作らなければならないので、組織としての運営も安定していなければいい演奏はできないのですよ。

そのようにして、活動をしてきて、演奏での成果は上げることができましたが、まだまだ運営、管理の力は

ついていません。これからも、その面をしつかりさせていきたいですね。

演奏面に関しては大学の配慮で11号館を借りられますし、以前の大講堂や現在では2号館（地下演習室）もあります。一方、楽器や楽譜などは、これまでの伝統の中で蓄積してきた膨大なものがあります。しかし、これらの管理・運営を学生がすべて抱えることは、かなりの重荷だと思います。スポーツだと選手とマネージャーは別ですが、吹奏楽部は一緒なのです。楽器をやめて管理をやれとは言えない。演奏と管理のリーダーを同時にこなすことは困難ですが、何とか克服して、運営面を向上させていきたいと思つています。

——演奏の指導だけではなく幅広い指導をいただいているのですね。

演奏に関しては応えてきたと思いません。しかし、演奏面のみで指導だと行き詰まってしまうものなのです。たとえば、楽器管理の方法など、2、3年生が中心で1年生が補助になるというチームを作つて行うようにというところから指導をするのが大切だと思います。

演奏会当日、楽器が壊れたと思つたら、実はキイのバネがはずれていただけということもありますから。演奏技術だけでなく知識があれば現

場で簡単な応急処置ができますし、助け合えます。吹奏楽というものには、広い気配りが必要なのですが、学生にはまだまだ足りない。気配りを行動に表すには、どうしたらいいのか、ということを常に指導するようになっています。

そもそも音楽は、形が無いものです。演奏側に思い入れがないとだめです。そして、聞く側にも思い入れがあつてすばらしいものになる。思い入れがあつて出す音からは何かを感じる。思いのこもった音とそうでない音とはまったく違います。しかも演奏するときだけというのはだめです。日ごろから、いろんな面で気配りができるかどうか音楽にも現れるのです。また、そうであるからこそ音楽には大きな力があるのでしょう。

東日本大震災でも、音楽の持つ力の大きさを、わたしたちは知らされました。自衛隊などいくつもの音楽隊があり、被災地での演奏をかなりたくさん行っていました。関係者に聞きますと、どの演奏会も本当に喜ばれるのだそうです。中でもマーチの演奏は、一番感激をしてくれるのだそうです。力が湧いてくると……話を戻すと、ですから、私は学生に対して音楽の指導だけでなく、運営や学生生活の幅広い指導が大切だと

考え、そういう面にも積極的に取り組んで来ました。

——だからこそ、連続して金賞も取れ、通算24回達成という偉業も成し遂げられたのです。今年も3年連続受賞したため規定により大会出場は休まなければならず、国内・海外遠征と聞いています。

海外は2回、6月のベルリンとチエコ、国内では、地方公演の計画が複数出ており、定期演奏会もあります。ほぼ月に一回のペースで演奏会がありますね。小学生のために出版される楽譜の模範演奏の録音、3月も新作発表（饗宴）の場もあります。

——「超」がつくほど多忙なのですか？
海外遠征では、日本の作曲家の作品や、いかにも日本らしい曲なども織り交ぜ、さまざまな曲を演奏する予定です。スメタナ作曲の交響詩「わが祖国」より「モルダウ」、レスピーギ作曲交響詩「ローマの松」も演奏する予定です。

特にチエコの人々にとって、「モルダウ」は国民的な特別な曲です。で緊張しますね。曲としても吹奏楽での演奏は難しいのです。両方とも元は管弦楽曲ですが「ローマの松」の方は器乐的で、吹奏楽でも比較的演奏し易いといえます。ところが「モルダウ」は難しいんです。滔々とした流れを表現する弦楽器の

フリーズを、息継ぎの必要な管楽器で演奏するという点も相応の技術が必要です。ただ、神大の吹奏楽部はやさしい曲よりも難しい曲の方が得意ですね。ハードルが高い方がやりがいを感じ、演奏技術も向上するし、より完成度の高い演奏にもなる。それに、やさしいものをやってみると嬉しさだけを感じるのは同好会であって、部活動としての課外活動ではないかと思っています。ハードルの高いものに時間をかけて取りこんでいくことが大切なのです。

時間のかけ方ということや、プロは時間をかけられないのですよ。時間をかけずに完成させなければなりません。音大の指導もそういう方向です。しかし、ここではしっかりと時間をかけて曲を作り上げていくので、ある面ではプロや音大よりも完成度の高い演奏ができることがあります。ある音大の先生がおっしゃったことですが、「プレーヤーを指すなら音大に、吹奏楽をやりたいならば神大にすすみなさい」と。

——その証が連続金賞、通算24回達成という偉業、海外遠征としてあらわれているわけですね。

おごつてはいけませんが、夢は持たないといけません。ベルリン・フィルハーモニーホールでの演奏会は、

世界的な権威ある会場ですし、誰でも無料でどうぞというものではありません。音楽に本当に思い入れのある方々が来てくれるわけです。大変やりがいを感じます。もちろん相当な緊張感もあります。チェコの方も、「モルダウ」はチェコの人々にとって特別な曲ですから身の引き締まる思いです。

——夢を持たなくてはというお言葉も出ましたが先生の夢は何ですか？

神大の吹奏楽部ということだと、昔、夢だったことが今かなり叶っているのですよ。昔は、海外遠征なども考えもしませんでしたから。特に、2004年にThe Midwest Band Clinicに出演し、しかもクリニックの最後を飾るファイナル・コンサートに出演するなど、指揮を引き受けた当時からすると夢のまた夢でしたから。ほかにも、アメリカ、スペイン、スウェーデン、オーストリア、今年もベルリン、チェコと海外遠征ができるのですから、幸せですね。今のメンバーはかつての夢を目前のものとして手にできるところにいるのです。しかし、それは永い伝統、先輩たちの努力と成果の蓄積があるからこそ叶えられるものなのです。そして、またそれをつなげて行かなければなりません。ですから4月に新入生が入る前にはリーダー研

修というものを行って、当時の演奏を聞きながら部の歴史を教え、新しい歴史を作っていくのだということも教えています。

——神大の吹奏楽部に憧れて、ぜひ入りたいという高校生も多いでしょうね。

多いですね。高校の吹奏楽コンクールの強豪校といわれているところからも神大を目指して結構来ていますよ。しかし、最近では敷居が高くなりすぎたようで一時よりも志願者が減ってきているので、ぜひ、卒業生の皆さんのお子さんや周辺に吹奏楽部の方がいらつしゃれば志願していただきたいですね。私だけでなく、コーチたちも一生懸命ですし、大学に入ってから育てるのだという気持ちで指導していますから。

また、指導は音楽のことだけに限りません。個人の悩みも聞くようにしています。このような時代です。経済的な相談も受けています。大学の職員にも卒業生がいますので、いろいろな奨学金の中で受けられるものを一緒に探して続けることができたという事もありました。

吹奏楽部というと、とかく音楽の指導だけに厳しいという印象を持つ方もいらつしゃるようですが、そうではありません。大学の課外活動の意味は、音楽やスポーツをする上で

付随していろいろな活動を通して人を育てるところにあると思っっていますし、そうでなければ意味がありません。ですから組織の運営の方法やさまざまな指導に力を入れています。ですから、吹奏楽部の卒業生は、音楽の世界ではもちろんのこと、教職に就いて活躍している人も多いですよ。

——そのように伺うと、ご父母も安心して託すことができますね。

そうですね。部に入ると新入生から活躍の場もありますし。毎年5月3日に行われる横浜みなと祭りのパレードは1年生のデビューなんです。吹奏楽経験者でもマーチングをやったことがないという子もいるのですが、先輩たちが指導をして、1年生中心のメンバーで出演します。

——みなと祭りは大賞を受賞したりしていましたが、まさか1年生だとは思っていませんでした。すばらしい演奏ですので市民の皆さんにも大人気で、卒業生としては鼻が高い行事です。

吹奏楽部の演奏はもともと多くの皆さんに聞いていただきたいですね。特に気持ちの落ち込んでいるときなど、ぜひ聞いていただきたいです。

ところで、神大の吹奏楽部は、吹奏楽の世界ではその発展に大きく貢献しているのですよ。吹奏楽等の合



奏や合唱を指導するためのハーモニ
ーディレクターという機器があるの
ですが、このテストなども引き受け
ていますし、毎年国内・海外の楽器
店関係者や吹奏楽の指導者が見学に
も訪れています。

—ところで、先生ご自身がほっとされ
ることかご趣味などは。

そうですね、温泉は好きですが年
に一回ぐらいしか行かれませぬね。
あと、人にはカメラが好きと言われ
ます。演奏や指導でいろんな所に行
くので、風景や人や、興味を惹かれ
たものは何でも撮りますね。デジカ
メですと好きなだけ撮って後で消せ
ますからいくらでも撮れて便利です

ね。

—各地の名物なども召し上がるかと思
いますが、お好きな食べ物などは。

千葉県の銚子の出身なので魚が好
きですね。自宅に程近い金沢区の小
柴漁港はアナゴの名産なので、家で
食べる妻の作った白焼きや天婦羅、
煮付けなどが好物です。でも、妻は
フルートを吹くので、私が休みの時
などそちらの活動をしていて、なか
なか港に買いに行つて、ということ
はできないんですけどね。(笑)

—今日お話を伺う前は、厳しい指導を
される怖い先生なのではと勝手に想
像していたのですが奥様の手料理が
一番の好物でいらつしやる心優しい
方だったんですね。もちろん練習の
時には厳しいのだと思いますが、そ
のような先生の座右の銘は。

座右の銘というか、以前保護者の
皆さんに話をしてほしいとの依頼を
受けてお話しした事ですが、私が教え
る事は何か。1+1=2を教えます、
と。たとえば1円貯金や10円貯金も
続けているとそれなりにあります
ね。1は基本です。1を積み重ねて
いけば成長する。

僕は「ケチ」というか無駄が嫌い
なのです。学生にもコピーはなるべ
く減らすように、演奏会のチラシは、
裏に広告を入れて印刷費に充ててな
おかつメモ用紙にされてしまわない

ようにと指導しています。

実家は昔、雑貨屋を営んでいて、
ノートなども売っていたのですが、
国語のノートには欄外に升目を自分
で引いて使っています。母親が授
業参観の時に初めて気がついたと言
つておりましたね。勿体ないですか
らね。(笑)

—本場に学生たちは音楽を教わりなが
ら、それを通してもっと多くのこと
を教わっているんですね。

それが部活動ですから。目標を下
げると同好会になってしまいます。
学生と一緒に頑張っていきましょう
のは必要ありません。コンクールは
学生を高めるためのひとつの手段な
のです。

今後、レベルを下げることなく
一つ一つ夢を設定してそれを実現し
ていきたいと思っています。

◆ ◆ ◆
「インタービューを終えて」

とても若々しく意欲的でいらつしや
る、厳しいご指導は学生の成長のため
に思う本質的に優しいお人柄の現われな
だなど感じました。

(編集委員 堀江美由紀)

※The Midwest Band Clinic = ミッドウエ
ストバンドクリニック

2004年12月18日ヒルトン・シカゴで開
催された世界最大規模の吹奏楽イベン
トであるThe Midwest Clinicの第58
回大会に吹奏楽部が出演した。

■ 説明

The Midwest Clinicは毎年シカゴで開
催されるバンドとオーケストラのための協
議会、13,000人以上の音楽教育者、
学生、プロの関係者が全米50州、世界30ヶ
国以上の地域から参加しています。(今年
は15,000人以上との情報もあり)

北米はもとより、世界中から、演奏家、
指導者、指揮者、作曲家、出版社、楽器メ
ーカーが集い、オーケストラ、ジャズ、吹
奏楽の演奏会や、見本市、講習会を行う。
世界最大の音楽教育のコンヴェンション。

プロフィール

● 生年月日

1944 (昭和19) 年9月6日

● おとめ座

● 血液型

A型

● 役職

神奈川大学吹奏楽部音楽監督、尚美学
園客員教授、尚美ウインドオーケスト
ラ常任指揮者、日本管打・吹奏楽学会
理事長、日本バンドクリニック委員会
代表、21世紀の吹奏楽「響宴」実行委
員会代表。

● 経歴

トランペットを小川内一彦氏、和声を
兼田敏氏に師事。元東京芸大教授中
山富士雄氏らと共に金管バンドの結成
に参画、東京ブラスソサエティのコン
サートマスターを務め、我が国の金
管バンドの普及・指導に力を注ぐ。ま
た、スクールバンドにおける指導の実
績は、現在も日本の吹奏楽界に大きな
影響を与えている。日本楽器(現ヤマ
ハ株)講師を経て、バンドディレク
ターとして数多くの優秀なバンドを育
て、現在日本を代表するバンドディレ
クターとして活躍中。1994年第5
回日本吹奏楽アカデミー賞(研究部門)
受賞。

熱い声援が、優勝への一番のモチベーション。

根本 進さんに聞く

スケート部総監督 アイスホッケー部門

神奈川大学体育会スケート部アイスホッケー部門は、平成23年度関東大学アイスホッケーリーグ戦DivⅡにて準優勝し、創部以来の悲願であるDivⅠ昇格(※)を果たしました。今回、本学アイスホッケー部をDivⅠ昇格へ導いたアイスホッケー部門監督の根本 進氏にインタビューを行いました。

※関東大学リーグではレベル毎にDivⅠ(A・Bの2リーグ有)、DivⅡ、DivⅢ、DivⅣ、DivⅤの5リーグに分かれています。今回の昇格により、本学アイスホッケー部は来シーズンをDivⅠBリーグでプレーすることが決定しました。

— 昨シーズンは入れ替え戦で惜しくもDivⅠB昇格を逃しました。この事を受け、2011シーズンへ臨む際の心境はどうでしたか？

これまでは、DivⅡの2位のチームはDivⅠで下位だったチームと入れ替え戦を行い、勝ったチームが翌年度DivⅠBでプレー出来るという制度でした。しかし、今シーズンは、リーグ戦の運用が変更され、DivⅡの2位までは自動でDivⅠへの昇格が出来ることになりました。そのため、最終の優勝決

定戦まではひとつも試合を落とせない状況でした。結果2位となりましたので自動昇格です。しかし、過去3年間は連続でDivⅠとの入れ替え戦で敗退しました。そのことから考えても、DivⅠとDivⅡでは、大きな力の壁があると感じておりました。特にDivⅠBとDivⅡのチームでは、学生のホッケーに対する姿勢や普段の生活態度などが大きく異なっていると感じています。一部に昇格するにあたりホッケーをする以前の挨拶や言葉遣いなどの生



Susumu Nemoto

活態度はもちろん、ホッケーに対する姿勢と言った基本的なところの指導を徹底していきたいと思っています。

— 2011シーズンではどのような反省点がありましたか？ また、そこをどのように克服しましたか？

反省点としては守りの役割を果たせず大事な場面での失点が多かった事です。また、チャンスを生かしきれず得点出来ない試合が多かったこ

とも大きな課題です。前の質問でもお答えしましたが、まず、選手ひとりひとりのホッケーに対する気構えや日頃の生活面での姿勢を変えることで克服したいと思っています。そういう点を克服しないと、DivⅠのレベルではかなり厳しい戦いを



強いられる状況です。実際、これからDiviIBに昇格することで、試合運びは今まで以上に厳しくなると思います。

——リーグ戦を通して印象に残った試合はどの試合ですか？

やはり最終戦の青山学院大学さんとの優勝決定戦ですね。青山学院大学さんとはリーグ戦以外でもインカレ予選で対戦し、0-4で敗戦を喫していました。インカレ予選ではチャンスを活かせない試合展開で、選手ひとりひとりに試合の主導権を握れないストレスが溜まり、自滅してしまうような試合運びが見受けられました。

しかし、リーグ最終戦ではインカレ予選時よりも選手ひとりひとりが最後まで試合に集中できていたように思えます。結果は、0-2というスコアで破れましたが、この試合は、選手の成長を感じることができ

きる試合でした。だから、この試合は特に印象に残っていますね。

——今回のリーグ戦を通して、キープレヤーとなった選手を挙げるとしたら誰を挙げますか？また、来シーズンに期待する選手を教えてください。

リーグ戦を通して、チームの柱となったのは守護神GK飯田篤史（経済・4年）だったと思います。日頃の練習に対する真面目さや、試合での最後まで諦めない姿勢はチームに活気を与えてくれました。来シーズンに向けてと言ったところでは、FWの矢吹涼（法律・1年）の奮起に期待します。その他にも、DFの三瓶直（英語英文・3年）、柳谷智（人間科学・3年）、FWの伊藤敦志（人間科学・2年）の活躍を期待したいと思います。

——来シーズンはDiviIBに昇格しますが、試合を運ぶうえでDiviIIとI-Bのレベルの違いをどう考えますか？

端的に言うると、「試合中常に一生懸命全力でやらないと勝てないレベル」ということですね。DiviIIでは対戦相手との組合せによって、試合の勝敗がある程度予測出来ました。DiviIBは各大学のレベルに差はない

と感じます。そのため、試合の勝敗や展開が予測しづらい状況になると思います。そのような中で勝ち残っていくには、日々の練習に今以上に力を入れなければいけないと感じています。

——DiviIBに向けての戦略、あるいは勝負のポイントはどのようなところにあると感じますか？

基本となるのは、やはり相手に点数を与えないことですね。そのため、失点をしないための守りが重要になってきます。また、自分達に来た数少ないチャンスをいかにもにやるか、それが勝負のポイントになると思います。

——来シーズン（DiviIB）の目標を聞かせてください。

選手は『DiviIBでの優勝を目標』を口にしていきます。しかし、他のチーム同士のレベルが横並びであると言っても、過言ではないリーグです。その中で一番大切なことは、「まず一勝すること」だと思います。少しでも早く「一勝」することで、選手が口にする『優勝』と言う目標へ近づくことが出来ると思います。——全国のOBをはじめ、アイスホッケー部を応援している皆さんへ一言お願いします。

いつも応援ありがとうございます。DiviIBでは厳しい戦いが予測されます。是非試合会場まで応援

に来ていただき、そして直接選手へ声援を送っていただくことが、選手にとって一番の励みとなります。DiviIBでも頑張りますので、引き続き熱いご声援をよろしくお願いします。

（編集委員 時田紗奈）

プロフィール

●根本 進 総監督

昭和36年（1961年）4月16日生
昭和59年3月 神奈川大学経済学部経済学科 卒業 神奈川大学アイスホッケー部OB
神奈川大学での体育会アイスホッケー部の監督歴は19年。現在は民間企業に勤務しながら、本学での指導を行っている。コンスタントにインカレに出場できるチーム作りを目標とする。監督就任時はちょうどDiviVからDiviIVへ昇格した頃で、自身も会社のアイスホッケー部に所属していた。

日本アイスホッケー連盟公認レフェリーを永年に渡り務めた
現在、神奈川県アイスホッケー連盟大学強化担当、競技担当、総務担当理事

神奈川大学体育会アイスホッケー部 沿革

昭和32年創部。平成16年度より、スケート部アイスホッケー部門となる。
部員数は、1年次7名・2年次7名（マネージャー2名含む）・3年次5名・4年次7名の計26名。9〜3月までのシーズン中は新横浜プリンスホテルスケートアリーナで週2度の練習を行う。平成23年度関東大学アイスホッケーリーグ戦DiviIIにて6勝1敗の成績で準優勝し、念願であったDiviIへの昇格を果たす。

平成24年度収支予算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(一般会計)

(単位：千円)

科目	23年度予算額	23年度実績見込額	24年度予算案	予算対比増減
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	1	1	1	0
基本財産利息収入	1	1	1	0
② 特定資産運用収入	1,404	1,429	148	△ 1,256
特定資産利息収入	1,403	1,428	148	△ 1,255
有価証券利息	1	1	0	△ 1
③ 会費収入	104,330	118,262	115,370	11,040
正会員会費収入	4,330	6,852	5,370	1,040
基本会費	480	1,200	840	360
年会費	2,400	2,652	2,400	0
維持会費5年	700	1,290	900	200
維持会費10年	300	780	540	240
維持会費15年	360	840	600	240
終身会費	90	90	90	0
準会員会費収入	100,000	111,410	110,000	10,000
④ 雑収入	504	522	440	△ 64
受取利息収入	24	54	30	6
雑収入	480	468	410	△ 70
事業活動収入計	106,239	120,214	115,959	9,720
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	120,951	113,019	150,303	29,352
大学主催事業協賛費支出	5,900	5,400	5,500	△ 400
給付奨学金支出	8,000	8,000	8,000	0
特別給付奨学金支出	15,000	15,000	12,000	△ 3,000
特定給付奨学金支出			3,000	3,000
学生課外活動援助等事業費支出(クラブ活動等助成費)	6,000	6,000	6,000	0
学生課外活動援助等事業費支出(特別事業費)	3,055	1,361	2,908	△ 147
学生課外活動援助等事業費支出(体育振興費)	2,698	2,647	2,698	0
学生課外活動援助等事業費支出(入学卒業関係費)	6,465	6,465	6,465	0
組織費支出	18,991	17,571	16,268	△ 2,723
広報費支出	33,342	29,951	33,514	172
事業諸費支出	1,500	624	2,950	1,450
法人移行準備費	0	0	21,000	21,000
神奈川大学米田吉盛教育奨学金募金寄付金支出	10,000	10,000	20,000	10,000
東日本大震災罹災学生支援寄付金支出	10,000	10,000	10,000	0
② 管理費支出	27,550	24,202	26,692	△ 858
給料手当支出	5,850	5,686	5,850	0
派遣事務費	4,000	3,683	4,000	0
臨時雇用賃金支出	1,450	0	500	△ 950
福利厚生費支出	880	876	880	0
慶弔費	1,000	774	1,000	0
会議費支出	1,580	1,726	2,091	511
旅費交通費支出	1,600	1,106	1,450	△ 150
通信運搬費支出	1,150	961	1,078	△ 72
消耗什器備品費支出	200	180	200	0
消耗品費支出	700	386	700	0
印刷製本費支出	2,420	2,200	2,163	△ 257
賃借料支出	560	486	560	0
委託費支出	5,430	5,430	5,430	0
雑支出	730	708	790	60
事業活動支出計	148,501	137,221	176,995	28,494
事業活動収支差額	△ 42,262	△ 17,007	△ 61,036	△ 18,774
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	40,000	40,000	20,000	△ 20,000
神奈川大学米田吉盛教育奨学金募金寄付金事業取崩収入	10,000	10,000	20,000	10,000
奨学金運用事業取崩収入	30,000	30,000	0	△ 30,000
投資活動収入計	40,000	40,000	20,000	△ 20,000
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	232	237	230	△ 2
有価証券取得支出	2	2	0	△ 2
奨学金積立金支出	230	235	230	0
② 他会計への繰入金支出	30,000	30,000	0	△ 30,000
奨学金運用会計への繰入金支出	30,000	30,000	0	△ 30,000
投資活動支出計	30,232	30,237	230	△ 30,002
投資活動収支差額	9,768	9,763	19,770	10,002
III 財務活動収支の部				
財務活動収支差額	0	0	0	0
IV 予備費支出				
予備費支出	37,412	0	21,396	△ 16,016
当期収支差額	△ 69,906	△ 7,244	△ 62,662	7,244
前期繰越収支差額	69,906	69,906	62,662	△ 7,244
次期繰越収支差額	0	62,662	0	0

本部だより

平成24年度事業計画・収支予算書
理事会開催状況
代議員会
通常総会
監査
全国支部長会議

女性会員のつどい
各種委員会開催状況
支部総会関係開催状況
新支部紹介
支部解散
同期同好会開催状況

新支部長紹介
平成23年度表彰者
計報
支部総会の予定

- 平成24年度事業計画・収支予算書
- 1 神奈川大学の進展と維持に必要な援助
 - 2 特別給付奨学金(課外活動支援特別給付金)
 - 3 「神大スポーツ・文化振興会」賛助金募集
 - 4 奨学金の給付及び貸与

① 給付奨学金
学部学生と大学院生を対象とした給付奨学金。

② 特別給付奨学金(課外活動支援特別給付金)
宮陵会スポーツ課外活動支援特別奨学金規程による指定寄付金。神奈川大学が主催する一般公開講座への協賛。

③ 「神大スポーツ・文化振興会」賛助金募集
神奈川大学のクラブ・サークルに対する賛助金の募集。

④ 貸与奨学金
宮陵会奨学金規程による経済的困窮の学生に対する本会独自の貸与奨学金。

⑤ クラブ活動等助成金
クラブ活動等援助及び講演会・スポーツ大会等の開催、体育の振興
課外活動への援助、講演会、スポーツ大会等の開催。世界、全国レベルで活躍する準会員を応援する事業。

⑥ 卒業祝賀行事の共催
正会員となる新卒業生に対し、卒業祝賀会費用を大学、後援会と分担し援助する。

⑦ 新入生へ記念品の贈呈
学校法人神奈川大学「米田

神奈川大学教育振興基金規程第6条第1項第2号及び第3号に関する指定寄付金。

⑧ 講演会・スポーツ大会等の開催
準会員委員会主催による講演会及びスポーツ大会の開催。

⑨ 競技大会参加費、OB指導者交通費等の助成。

⑩ 卒業祝賀行事の共催
正会員となる新卒業生に対し、卒業祝賀会費用を大学、後援会と分担し援助する。

神奈川大学教育振興基金「募金への寄付」
神奈川大学へ東日本大震災罹災学生のための寄付
学校法人神奈川大学 総務部校友課への協力

① 一般社団法人への移行
平成24年10月頃までに、県に移行申請を行う。

② 財政基盤の確立
財政基盤の確立
会費納入促進
未納会員に納入案内を

平成24年度収支予算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(奨学金運用特別会計)

(単位：円)

科目	23年度予算額	23年度実績見込額	24年度予算案	予算対比増減
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入	0	0	0	0
基本財産利息収入	0	0	0	0
②奨学貸付金回収収入	19,000,000	20,274,800	19,000,000	0
貸付金現年度回収	6,000,000	7,817,000	6,000,000	0
貸付金過年度未回収額回収	13,000,000	12,457,800	13,000,000	0
③一般会計繰入金	30,000,000	30,000,000	0	△ 30,000,000
一般会計繰入金	30,000,000	30,000,000	0	△ 30,000,000
④雑収入	30,000	186,284	30,000	0
受取利息	30,000	48,618	30,000	0
雑収入	0	137,666	0	0
事業活動収入計	49,030,000	50,461,084	19,030,000	△ 30,000,000
2. 事業活動支出				
奨学貸付金支出	40,000,000	29,700,000	35,000,000	△ 5,000,000
貸付金支出	40,000,000	29,700,000	35,000,000	△ 5,000,000
事業活動支出計	40,000,000	29,700,000	35,000,000	△ 5,000,000
事業活動収支差額	9,030,000	20,761,084	△ 15,970,000	△ 25,000,000
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
貸付金増減額	21,000,000	9,425,200	16,000,000	△ 5,000,000
貸付金増減額	21,000,000	9,425,200	16,000,000	△ 5,000,000
投資活動収入計	21,000,000	9,425,200	16,000,000	△ 5,000,000
投資活動収支差額	21,000,000	9,425,200	16,000,000	△ 5,000,000
III 貸付金充当				
貸付金充当	161,409,983	0	161,596,267	186,284
当期収支差額	△ 131,379,983	30,186,284	△ 161,566,267	△ 30,186,284
前期繰越収支差額	131,379,983	131,379,983	161,566,267	30,186,284
次期繰越収支差額	0	161,566,267	0	0

(3) 継続的に行い、納入促進に努める。
組織の拡充（ブロック会、支部との連携並びにブロック会、支部の設立及び再建支援）
①支部連携祝金、旅費、通信費
支部総会開催時、本部出席時の祝金、交通費及び支部総会資料発送通信費等。
②支部助成金
支部総会通信費補助（職域・同期・同好支部除く）、支部設立周年行事経費助成、準会員支部総会参加費助成。
③ブロック会議費

(4) ブロック会議開催支部経費助成、講演者への講演料、参加支部の旅費交通費助成。
④支部設立再建支援
支部設立準備、再建支援のための助成。
会誌・会報の発行
会員間の情報共有として重要な事業。平成24年度会報は住所判明者全員に送付するが、会誌については会費納入者のみに送付予定。
(5) 「神奈川大学校友VISAカード」の入会促進及び提携店拡大
神奈川大学校友VISAカードの入会促進等。

(6) 宮陵会理事會開催状況
●平成23年4月22日(金) 議案
1、平成22年度収支決算報告に関する件
2、平成23年度補正予算に関する件
3、表彰規程にもとづく被表彰者の決定に関する件
4、推薦代議員に関する件
5、支部解散の承認に関する件
●平成23年5月21日(土) 議案
1、会長の選任に関する件

●平成23年11月19日(土) 議案
1、一般社団法人への移行に関する件
●平成23年12月1日(木) 議案
1、平成23年度第2回代議員会の招集に関する件
2、平成24年度第1回代議員会の招集に関する件
3、平成24年度通常総会の招集に関する件
4、支部設置承認に関する件
5、一般社団法人への移行に関する件
●平成24年1月17日(火) 議案
1、一般社団法人への移行に関する件
●平成24年2月3日(金) 議案

●平成23年5月21日(土) 議案
1、平成22年度収支決算報告に関する件
2、平成23年度事業計画及び収支予算に関する件
3、代議員の承認に関する件
4、社団法人宮陵会役員候補者選任規程の改正に関する件
5、法人の移行申請の方向性に関する件
6、役員承認に関する件
●平成23年4月18日(月) 平成22年度監査
●平成23年10月15・16日(土・日) 講演会「三陸地域の復興と漁村再生復興の論点」
講師 神奈川大学工学部 教授 重村 力
2、全体会議「一般社団法人化に伴う支部との連携について」
3、意見交換会
●平成24年3月11日(日) ロイヤル・ウイング 横浜港クルーズ
参加者37名 同伴者8名

●平成23年 4月6日 代議員選考委員会
4月11日 財政委員会
4月22日 表彰委員会
4月27日 役員選考委員会
●平成23年5月21日(土) 議案
1、平成22年度収支決算報告に関する件
2、平成23年度事業計画及び収支予算に関する件
3、代議員の承認に関する件
4、社団法人宮陵会役員候補者選任規程の改正に関する件
5、法人の移行申請の方向性に関する件
6、役員承認に関する件
●平成23年4月18日(月) 平成22年度監査
●平成23年10月15・16日(土・日) 講演会「三陸地域の復興と漁村再生復興の論点」
講師 神奈川大学工学部 教授 重村 力
2、全体会議「一般社団法人化に伴う支部との連携について」
3、意見交換会
●平成24年3月11日(日) ロイヤル・ウイング 横浜港クルーズ
参加者37名 同伴者8名

支部総会関係開催状況

6月16日	広報委員会
6月30日	委員長会議
7月15日	広報委員会
7月19日	組織委員会
9月27日	表彰委員会
10月11日	広報委員会
11月17日	広報委員会
●平成24年	
1月19日	広報委員会
1月20日	財政委員会
2月3日	表彰委員会
3月22日	広報委員会
●平成23年	
4月14日	港南区支部総会
4月29日	神奈川大学ラグビー部OB会支部総会
5月14日	苫小牧支部総会 横浜北支部総会
28日	九州ブロック会議 佐世保大会 札幌支部総会 戸塚・栄区支部総会
29日	神奈川大学同学会 上海支部総会
6月4日	大阪支部総会 神奈川大学写真研究部OB会支部総会
5日	みやも電華会支部総会
10日	福岡支部総会 保土ヶ谷・旭区支部総会
11日	神奈川大学陸上競技部OB会支部総会
18日	愛知みやも会支部

10月2日	奈良支部総会
24日	秋田支部総会
23日	静岡西部支部総会
9月10日	旭川支部総会
11日	岐阜支部再建総会
17日	北陸ブロック会議 福井支部総会
23日	神奈川大学同学会 大連支部設立総会
24日	静岡西部支部総会
28日	箱根支部総会
29日	神奈川大学学生会 三重支部総会
3日	三重支部総会
8日	神奈川大学会計人会支部総会
9日	伯耆支部総会 大分支部総会
10日	神奈川大学アメリカンフットボール部OB会支部総会
16日	兵庫支部総会 愛媛支部宇和島地区会
23日	神大バスケットボール部OB会総会
24日	佐賀支部総会
31日	南足柄支部総会
8月27日	因幡支部総会

8日	西多摩支部総会
15日	神大柔道部OB・OG会支部中部支部総会
16日	四国ブロック会議 愛媛支部総会 三三電会支部総会
22日	千葉支部総会
28日	秋田支部鹿角会 室蘭支部総会
29日	神奈川大学学士山岳会支部総会
2日	横浜信用金庫支部総会
5日	東北ブロック会議 山形県支部総会
12日	青森支部総会 神大卓球部OB会支部創立50周年記念総会
19日	神奈川大学硬式野球部OB会支部総会
20日	宮城支部総会
26日	函館支部総会 広島県支部総会
27日	北九州支部総会
12月3日	鹿児島支部総会 クリエートメデイ

●平成24年	
1月3日	香川支部総会
8日	茅ヶ崎・寒川支部総会
11日	神奈川区支部総会
15日	愛媛支部大洲・喜多地区会
18日	熊本支部総会
19日	筑豊支部総会
24日	佐世保支部総会
25日	長崎支部総会
26日	津久井支部総会
3月3日	南区支部総会
5日	三三電支部総会 珊瑚の会支部総会
●新支部紹介	
7月2日	設立総会 神奈川大学社労士会支部
9月17日	設立総会 神奈川大学同学会大連支部
●陵法会	
●17年会支部	
●24宮陵会支部	
●神奈川県下学校教職員会	
●同期同好会開催状況	
7月23日	山梨中銀神大同窓会

●新支部長紹介	
香川支部	岩本 克己(46経)
●宮陵会表彰者	
功労表彰	一、支部関係 39電 寺田 幹夫 (元群馬東毛支部支部長)
31経	遠山 詠一 (元静岡西部支部支部長)
29経	松下 武志 (元佐賀支部支部長・副支部長)
38賢	森光 俊夫 (元高知支部支部長)
37電	小林 保博 (元宮城支部支部長・理事・幹事)
33経	横山 武典 (元熊本支部天草地区長)
37工経	石谷 連 (元神奈川大学ラグビー部OB会支部副支部長・幹事)

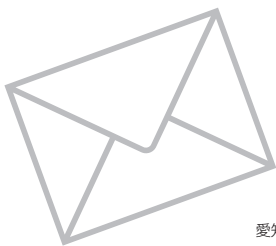
前愛媛支部大洲地区会会長	平成23年12月14日
安藤 力殿(26電)	
東京電気管理技術者協会神大支部支部長・前南足柄支部支部長	平成23年12月
西久保 忠臣殿(42応化)	
代議員・元理事	平成23年12月26日
小山 忠男殿(37賢)	
代議員	平成24年2月4日
●支部総会の予定	
防長宮陵会支部総会	平成24年6月2日(土)
神奈川大学会計人会支部総会	平成24年7月3日(火)
神奈川大学1号館	17:00
中国ブロック会議、岡山支部総会	
茨城支部総会	平成24年6月16日(土)
潮来ホテル	13:00
兵庫支部総会	平成24年7月29日(日)
神奈川大学体育会ヨット部OB会支部きさらつ会	平成24年9月1日(土)11時
1号館8階	
ヨット部創立50周年式典	
神奈川大学箱根保養所 懇親会、宿泊	9月2日(日) 江ノ島ヨットハーバー
OB・OB・OB	
北陸ブロック会議、石川支部総会	平成24年9月29日(土) 金沢都ホテル 15:30

支部だより

佐世支部総会
熊本支部総会
大分支部総会
鹿児島支部総会
神奈川大学同学会大連支部総会
神奈川地区支部総会
南区支部総会
保土ヶ谷・旭区支部総会
戸塚・宋区支部総会
横浜北支部総会
港南区支部総会
西多摩支部総会
南足柄支部総会
三浦半島支部総会
津久井支部総会
茅ヶ崎・寒川支部総会
三洋みやも会支部総会
神奈川大学同学会大連支部総会
横浜信用金庫支部総会
クリエートメディック支部総会
神奈川大学会計士支部総会
神奈川大学社労士支部総会
みやも電革支部総会
三電支部総会
珊瑚の会支部総会

北海道ブロック会議 (北見支部総会)
東北ブロック会議 (山形支部総会)
北陸ブロック会議 (福井支部総会)
近畿ブロック会議 (京滋支部総会)
四国ブロック会議 (愛媛支部総会)
九州ブロック会議 (佐世保大会)

札幌支部総会
函館支部総会
室蘭支部総会
苫小牧支部総会
旭川支部総会
青森支部総会
岩手支部総会
秋田支部総会
秋田支部鹿角会
宮城支部総会
千葉支部総会
群馬支部総会
群馬東毛支部総会
静岡西部支部総会
愛知みやも会支部総会
岐阜支部総会
大阪支部総会
和歌山支部総会
兵庫支部総会
奈良支部総会
広島支部総会
因幡支部総会
鳥根支部総会
香川支部総会
愛媛支部宇和島地区会
愛媛支部大洲・喜多地区会
高知支部総会
福岡支部総会
筑豊支部総会
北九州支部総会
佐賀支部総会
長崎支部総会



- ① 大学・宮陵会からの出席者
 - ② 開催場所
 - ③ 参加人数
 - ④ 開催コメント
 - ⑤ 支部活動 (年間予定)
- ※支部名は県名略

北海道ブロック会議 (北見支部総会)

平成23年6月25日

- ① 常務理事 正野 幸延
事務局次長兼総務部長 勇 真一郎
副会長 小川 勲夫
- ② ホテル黒部
- ③ 37名道内支部14名、北見支部20名
来賓
- ④ ご来賓から東日本大震災の学生支援をはじめ、大学、宮陵会の現況報告を受けましたが、大震災で被災されました皆様には心からお見舞い申し上げます。
従来ブロック会議を兼ねて支部総会を行っていましたが、ブロック会議の時間が足りず駆け足で終わることが多いため、今年は総会を文書による報告とさせて頂きました。



旨の回答がありました。ただ、ブロック会議の主催は当番支部によることとなり、札幌支部との間で更なる調整が必要となります。会

東北ブロック会議 (山形支部総会)

平成23年11月5日

- ① 理事長 伊藤 文保
副理事長 横倉 節夫
秘書室長 手戸 俊彰
会長 狩野 七郎

議の時間がなくそれ以上の審議はできず、以後の調整が必要となります。会議の時間がなくそれ以上の審議はできず、以後の調整を北見支部で受けることとして会議を終了いたしました。

- ⑤ 平成23年6月
第14回 北海道ブロック会議開催
支部総会に代え北見支部活動報告
書支部会員簿共々発行
平成23年7月
支部会員に平成23年度活動報告書
及び支部会員名簿・第14回北海道
ブロック会議資料発送
平成23年10月
全国支部長会議出席



- ② 湯野浜温泉 愉海亭 みやじま
- ③ 支部総会 47名
- ④ ブロック会議 68名

今回は東北ブロック会議を後に開催する為、非常に簡略化した県支部総会でした。
と言っても会議の中身を簡略化したのでなく、総会次第の簡略化である。
通常通りの議題を通常通りの総会と同様に承認・決定の間にも出迎えに行き、ブロック会議参加者の受付をする会員もいて、中には出迎えのバスとに連絡がうまく行かず、自分の車で追い駆けられた会員もいたが、県支部総会としては上々の出来と思う。

- ① 東日本大震災の発生で急遽、山形県支部で開催を引き受けた「東北復興ブロック会議」N鶴岡」サプタイトルとして「響け！鶴岡から。復興の音色(ネイロ)」を掲げ、物故会員並びに震災での全物故者のご冥福を祈り、震災からの一日も早い復興を願い黙祷の後、鶴岡東高等学校吹奏楽部の演奏に合わせ校歌斉唱。引き続き同校による演奏。

長、狩野七郎宮陵会会長のご祝福等を頂き、各支部の活動報告に続き、次年度開催地を秋田支部と決定。
記念講演は、鶴岡藤沢周平文学愛好会顧問松田静子氏の「藤沢周平文学の魅力」をテーマにお話を頂きました。
懇親会では、横倉節夫副理事長に乾杯の御発声を御願いし、アトラクションとして当県の置賜地方を中心に歌唱指導等で震災被災者を元気にしようとして活動しているプロ歌手加藤公亮氏(神大卒)の美声を圧倒され、最後には2次会に狩野会長や手戸秘書室長をはじめ予定人数以上の会員が集まり正にサプタイトル通りのブロック会議になった。最後にご参加頂きました母校関係者と各支部の会員の皆様に感謝申し上げます。

- ⑤ ●支部
1、県内4地域に分け、各地域で活動を充実させ、地域での絆を深める事をより充実させるよう各地区で努力する。
2、各地域で、最少でも1回は集会を開催する事を充実させる。
3、神奈川大学の知名度の向上を目指す為の活動を積極的に行う。その為に、本部との交流を密にし、ご協力をおねがいし、神奈川大学のブランドを能動的に発信する。(例えば、母校の課外活動の受け入れ在校生父母懇談会の開催等)
4、今回の東北ブロック会議への積極的参加の要請

- ブロック会議
1、次年度は秋田支部での開催を決定。
2、震災の災害については今後も自分たちのできる範囲で応援等を継続して行くように努力をする。

北陸ブロック会議 (福井支部総会)

平成23年9月17日

- ① 学長 中島三千男
事務局次長兼総務部長 勇 真一郎
副会長 宇野 峰雪



- ④ 福井県織協ビル
福井支部総会・北陸ブロック会議
を会友40数名の出席のもと開催

総会において活動報告。ブロック会議において中島学長から大学の現況について詳細な説明。宇野副会長からは宮陵会と学生の活躍を紹介。各支部から支部活動を盛り上げるための試みについての報告。
在本院教授「災害に強い都市づくり」の講演は東日本大震災との関連で非常に関心のある内容でした。「自助・共助・公助の思想が災害から身を守る基本」ということでありました。
懇親会では50貿易卒の武田君のJAZZカルテット演奏もありなかなか中々に催しを終了することができました。

- ⑤ 支部ゴルフコンペ 6名参加
大学OB対抗ゴルフ福井新聞社主催 8月28日1チーム4名参加
支部総会・北陸ブロック会議 9月17日詳細は上記のとおり
支部役員懇親会 11月予定
テレビで箱根駅伝を応援する集い 1月3日

近畿ブロック会議 (京滋支部総会)

平成23年6月26日

- ① 学長 中島三千男



事務局長兼総務部長 勇 真一郎
副会長 平能 孝一
京都新阪急ホテル

- ② 今回、近畿ブロック会議を同時開催したことにより、奈良・大阪・和歌山・兵庫の各支部の役員の皆様が多数出席いただきました。
- ③ 中島学長より最近の大学現況について、特に今回の大震災への大学の対応状況を詳しくお話いただきました。
- ④ 総会終了後イベントとして箏曲演奏家 澤千佐子さんの歌（上方囃）とお話、そして三味線・箏の演奏で楽しい時間を過ごしました。
- ⑤ 懇親会では、大豪華やかな雰囲気のもと盛大に終わることができました。
- ⑥ 会費をいただいているが出席された方々に、今回大学よりいただいたパンフ等資料をお送りさせていただきましたところ好評で感謝のお言葉を多く頂きました。
- ⑦ 毎年参加人数が減少傾向で今後会員増加に向けての方策が引き続き課題であると確認する。
- ⑧ 支部総会の開催
- ⑨ 新年会の開催
- ⑩ 役員会の開催
- ⑪ 2回の支部主催のゴルフコンペ開催

**四国ブロック会議
(愛媛支部総会)**

平成23年10月16日

- ① 事務局次長兼総務部長 勇 真一郎
副会長 平能 孝一
西条国際ホテル
- ② 四国ブロック会議を兼ねて開催。又、地元で有名な西条祭り観覧。又、アサヒビール四国工場での懇親会を企画した。動員数においては、その時期、多忙な時期でもあつたが、予想より少なかつたが、懇親会においては、満足できる会になったように思える。
- ③ 平成23年3月19日 平成22年度愛媛支部総会
- ④ 7月16日 宇和島地区会開催
名出席 場所宇和島国際ホテル
年内 大洲・喜多地区会 開催予定
- ⑤ 東予地区は、今回支部総会、四国ブロック会議を主催したので、今年度の予定はなし。



**九州ブロック会議
(佐世保大会)**

平成23年5月28日

- ① 総務局長 中島三千男
副会長 平能 孝一
ホテル万松楼
- ② 第35回九州ブロック会議佐世保大会が、初代首相、伊藤博文公付けホテル万松楼で開催、中島三千



札幌支部総会

平成23年5月28日

- ① 副学長 石積 勝
総務部長兼友誼課長 清水 英樹
専務理事 佐藤 武
京王プラザホテル札幌
- ② 総会は、鈴木英二支部長の挨拶に始まり、宮陵会本部より佐藤専務理事が出席され、お祝いの言葉と宮陵会活動の現状等が報告されました。
- ③ 続いて、平成22年度の支部活動報告、決算、平成23年度の事業計画、予算が審議され全会一致で承認されました。
- ④ 引き続き行われた講演会は、神奈川県大学副学長石積勝教授による「これからの大学教育」と題して講演いただきました。懇親会は、冒頭に大学を代表して清水秀樹校友課長より開催のお祝いと大学の現状報告を含めご挨拶をいただきました。乾杯でスタートした宴会では、札幌支部が誇る「アカペ



- ① 男性コーラスの歌声に続き、佐藤隆良副支部長が参加している「ひよっとこ踊り」保存会のユニークな踊りが披露されました。出席者までも巻き込み会場狭しと踊りの輪が広がりました。ビンゴゲーム等のアトラクションもあり賑やかな楽しい時間を過ごし、最後に恒例の出席者全員による校歌斉唱の後、記念写真撮影となり二次会へと移行しました。二次会には出席者の半数以上が集い、同ホテル1Fシーズンズで盛会の内を終りました。総会、懇親会・二次会の様子などは札幌支部のホームページにアップされておりしますので覗いてみてください。
- ② 支部活動平成23年度年間予定
- ③ 5月 札幌支部総会、父母懇談会参加
- ④ 6月 北海道ブロック会議参加北見支部
- ⑤ 7月 札幌支部親睦ゴルフ会
- ⑥ 8月 夏のビール会
- ⑦ 12月 忘年会
- ⑧ 1月 新年会

函館支部総会

平成23年11月26日

- ① 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武
ホテルテトラ本陣
- ② 17名
- ③ 宮陵会より、佐藤武専務理事の出席を賜り、例年通り本学OBの経



- ① 情報システム推進部長 金丸 壽男
専務理事 大場 憲治
ホテルサンルート室蘭
- ② 21名
- ③ 今年、雪虫が異常発生する中、支部会員19名、大学、宮陵会より各1名、計21名という近年にない参加者となり、雪虫に見る方や初参加の者もおり大変盛り上がりしました。東北で震災支援の活動をしている泉澤会員の支援活動の報告があったり多彩な支部総会でした。
- ④ 北海道ブロック会議への参加
- ⑤ 支部総会、懇親会の開催
同好会でのゴルフコンペ、パークゴルフ大会
今年支部会員の東北での震災プロジェクトへの協力

苫小牧支部総会

平成23年5月14日

- ① 事務局次長兼人事部長 佐藤 武
副会長 武笠 健次
ホテルサンルート苫小牧
- ② 22名
- ③ 昨年度役員改選を行い、新役員による行事活動の年でありました。会員22名の参加のもと5月14日（土）に総会・懇親会を開催することができました。
- ④ 今回の総会・懇親会には来賓として、学校法人神奈川大学事務局次長人事部長佐藤武様、社団法人宮陵会副会長武笠健次様のご出席を賜り、「ホテルサンルート苫小牧」にて総勢24名にて開催することができました。
- ⑤ また、総会では前支部長大窪忠頼氏の11年間に渡る支部長としての功績に対し、「感謝表彰」が、宮陵会副会長武笠健次様よりありました。
- ⑥ 今後の課題としては、今回2名が新規入会していただいております。





平成23年度 宮陵会 旭川支部総会

が、若手会員の掘り起こしを行っていきたくと考えております。

⑤ 5月14日 総会・懇親会 支部会員22名 来賓2名 参加で開催済み

6月25日 第14回 ブロック会議 (北見支部開催)

土屋支部長、矢柄副支部長、坂元副支部長3名 出席予定

7月 パークゴルフ開催予定 (第1回)

8月 ゴルフコンペ開催予定

9月 パークゴルフ開催予定 (第2回)

12月 役員会 開催予定 (総会打合せ)

平成24年4月頃 総会・懇親会開催予定

旭川支部総会
平成23年9月10日

① 広報部長 水上 晃
副会長 平能 孝一
旭川グランドホテル
12名

② 参加者全員の顔を見ながら会議と懇親会ができる人数でした。大学や宮陵会の現状と取り組みを、ご臨席の水上広報部長と平能副会長から詳しくご説明をいただきました。

③ 続いて26年間にわたり旭川支部の舵取りをしていただきまし瀧脇前支部長に宮陵会功労表彰の贈呈式が厳かに行われ、瀧脇前支部長には全会一致で顧問に就任いただきました。



神奈川大学校友会旭川支部総会

ました。

懇親会では、瀧脇顧問の世界経済の話からくだけた話題まで奥深い興味のある話題を次々と冗舌で話され時間も忘れるほど楽しい時間でした。

支部運営の課題は、連絡先不明の会員が増えたことと地元からの大学入学が減っているなどの深刻な問題提起もありましたが、会員同士の連携で支部の活性化を約し、輪になってDVDに映し出された大学の様子を見ながらの校歌斉唱で閉じました。記憶に残る総会となりました。

青森支部総会
平成23年11月12日

① 学修進路指導部第一部(教務) 事務部長 古閑 安明
副会長 平能 孝一
ホテルクラウンパレス青森
23名うち来賓2名

②

③



平成23年度 神奈川大学校友会 青森支部総会

岩手支部総会
平成24年2月4日

④ 平成23年度青森支部総会及び懇親会を上記場所で開催した。

⑤ 久し振りの津軽地区の開催であったが、出席状況はあまり芳しくなかった。今後は、青森地区、八戸地区、弘前地区の各地区で活動を活発にしていく方向で意見統一された。

また、役員改選を行い、新たに平成4年卒の亀田和明氏を幹事に加え、現体制で今後2年間運営していくこととなった。

右記のとおり、地区ごとにゴルフ大会や新年会等を開催していく。

岩手支部総会
平成24年2月4日

① 工学部教授 重村 力
学生生活支援部事務次長 千葉 陽史
副会長 宇野 峰雪

② 盛岡グランドホテルアネックス 32名

③ 今年度は、3・11東日本大震災の影響もあり2月に新年会と併せての開催となった。

④ 総会の議事については原案通り承認された。復興支援のため我が母校の吹奏楽部の公演を被災地でぜひとも開催して戴きたい旨大学に請願することを全会一致で承認した。

特別講演として重村先生よりご講



岩手支部総会

秋田支部総会
平成23年9月24日

① 管財部次長 増子 義典
宮陵会事務局 田口世志男
アキタパークホテル 18名

② 9月24日18名の参加で総会を開催した。

③ 課題として、若手会員の参加者が少なく、年々先細りしている。↓マンネリ化

④ また、女性会員の参加がなくなつた。

⑤ 今後は、名簿作成を復活させる。個人情報に抵触しない範囲で、住所の一部、電話番号は掲載しない。職場の掲載は希望を取るなど確認しながら作成したい。

また、役員会を復活におこなう。まずは役員同士の連帯を図ることから始める。

最後に、大学に要望したい。駅伝選手強化、野球部選手強化、ラグビー部の選手強化を。大学の知名度のアップが、地方には大きな影響があります。

平成23年9月24日 支部総会
平成23年12月17日 第1回 幹事会
平成24年1月14日 第2回 幹事会、新年会(19名出席)
平成24年3月中旬 第3回 幹事会

秋田支部総会
平成23年9月24日

① 管財部次長 増子 義典
宮陵会事務局 田口世志男
アキタパークホテル 18名

② 9月24日18名の参加で総会を開催した。

③ 課題として、若手会員の参加者が少なく、年々先細りしている。↓マンネリ化

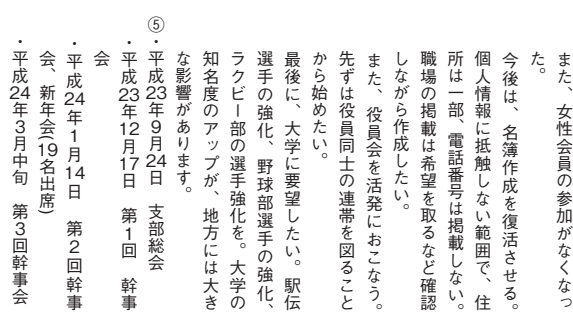
④ また、女性会員の参加がなくなつた。

⑤ 今後は、名簿作成を復活させる。個人情報に抵触しない範囲で、住所の一部、電話番号は掲載しない。職場の掲載は希望を取るなど確認しながら作成したい。

また、役員会を復活におこなう。まずは役員同士の連帯を図ることから始める。

最後に、大学に要望したい。駅伝選手強化、野球部選手強化、ラグビー部の選手強化を。大学の知名度のアップが、地方には大きな影響があります。

平成23年9月24日 支部総会
平成23年12月17日 第1回 幹事会
平成24年1月14日 第2回 幹事会、新年会(19名出席)
平成24年3月中旬 第3回 幹事会



秋田支部総会

秋田支部鹿角会
平成23年10月28日

① 鹿角パークホテル 6名

② 総会は、物故会員への黙祷の後、秋田支部の活動報告並びに2月に鹿角市で開催されたインカレスキーでの神大スキー部の活躍とこれに対する本会の支援報告から始まった。

③ 役員選任では、全員再任で、会長安村金之助30法、副会長田中正美36法、理事は井上高廣46応化、佐藤博明47応化、田口裕49賢。本学に対する賛助金の贈り先は、後日理事会で決めることとした。

④ 本会活動の活性化理事会で検討

⑤ 宮陵会活動への積極的参加

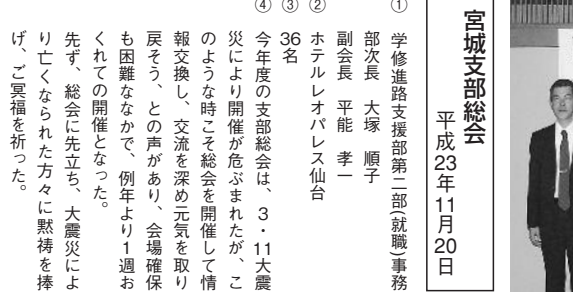
・ 神大の更なる知名度アップの方策
・ 各種集会の多数開催

宮城支部総会
平成23年11月20日

① 学修進路支援部第二部(就職)事務部長 大塚 順子
副会長 平能 孝一
ホテルレオパレス仙台 36名

② 今年度の支部総会は、3・11大震災により開催が危ぶまれたが、このような時こそ総会を開催して情報交換し、交流を深め元気を取り戻そう、との声があり、会場確保も困難ななかで、例年より1週おくれた開催となった。

③ 先ず、総会に先立ち、大震災により亡くなられた方々に黙祷を捧げ、ご冥福を祈った。



宮城支部総会

総会では浅野支部長挨拶の中で、宮陵会から贈られた「震災見舞金」に対するお礼と、お見舞金は「宮城県震災孤児育英基金」に寄付金として納入し活用して頂くこととした旨の報告後、大塚就職事務部長長小安博氏(昭37年卒)に功労賞の表彰があった。議事に入った。

議事は、浅野支部長の議決を進められ「平成23年度事業・収支決算報告書」「平成24年度事業計画(案)・予算(案)」が承認され、今年度は特に気仙沼地域との交流促進のため「気仙沼地区云々」発足に向けて準備することとした。

また、席上、大震災により被災の大きかった気仙沼市吉野 忠氏(昭42年卒)と石巻市神農太三郎(昭38年卒)の災害状況報告があり、涙して傾聴することとなった。

出席者は、震災の影響もあり、昨年42名より少なかつたものの、新卒者や新たな顔も見受けられ、懇親会ではお互いに声を掛け合つて活性化が図れるよう確認し、校歌・応援歌を斉唱して盛会裏に終了した。

1、宮陵会「東北復興ブロック会



宮城支部総会



来年の再会を誓い応援歌・校歌を
歌い散会となった。

千葉支部総会

平成23年10月22日

- ① 事務局次長兼財務部長 永和田隆一
専務理事 大場 憲治
- ② 千葉スカイウィンドウズ「東天紅」
38名
- ③ 大学事務局の永和田氏、宮陵会専
務理事の大場氏、体育振興委員長
手塚氏を迎えての「千葉の集い」
であった。
- ④ 長年にわたり支部長を務められた
前支部長矢鳥氏の退任式を行い、
新支部長へ引継ぎセレモニーを行
った。

永和田氏より大学の現在の状況の
説明、大場氏より宮陵会の活動説
明、手塚氏より体育活動の詳細な
説明があった。箱根駅伝の出場が
決まった事もあり、会は盛り上が
った。



箱根駅伝への支部有志による沿道
応援

群馬支部総会

平成23年7月2日

- ⑤ 箱根駅伝への支部有志による沿道
応援
- ④ スポーツ振興のための賛助
・千葉支部役員打合せ、2ヶ月一回
程度来年総会に向けての準備活
動
- ③ サテルナ高崎 佐藤 武
- ② 37名
- ① 事務局次長兼人事部長 専務理事
田口 澄也

来賓の佐藤次長からは大学、宮陵
会の近況報告をしていただきまし
た。



10/16日神奈川大学
ホームカミングデー参加
12月 第16回太田大学ジャズフェ
スティバル

群馬東毛支部総会

平成23年6月25日

- ① 研究支援部長 田口 澄也
- ② 副会長 宇野 峰雪
- ③ ホテルバインヒル太田 19名
- ④ 新役員体制でスタートした1年を
計画した事業計画をとりこごりな
く実行でき、新年度の事業計画、
予算も全員の拍手で承認された。

・新役員体制でスタートした1年を
計画した事業計画をとりこごりな
く実行でき、新年度の事業計画、
予算も全員の拍手で承認された。



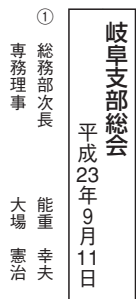
9月 群馬東毛支部 親睦ゴルフ
大会

静岡西部支部総会

平成23年9月23日

- ① 学生生活支援部事務部長
副会長 村川 浩幸
- ② オークラクトシティホテル浜松
43名
- ③ 本年度は、浜松市の区長を助めら
れ、仕事以外においても昔話を予
供達に伝える活動30年以上にわた
って続けられて来た、辰巳なお子
さんを講師にお迎えし、次世代に
伝えたい大切なもの等について
お話をいただきました。

・恒例のジャズバンド「ゴール
デン・スターズ」を迎え、華やか
なジャズ演奏を聴きながら、懐か
しい大学生活について、語り合っ
た。



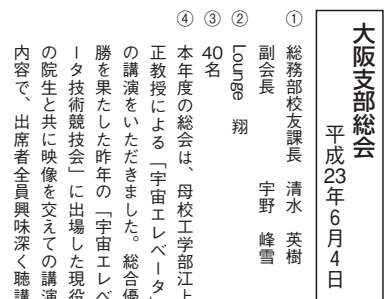
10月 秋期ゴルフコンペ
10月役員会
12月有志忘年ゴルフコンペ

愛知みやも会支部総会

平成23年6月18日

- ① 大学資料編集室長 澤木 武美
- ② 専務理事 大場 憲治
- ③ 東京第一ホテル錦 18名
- ④ 平成23年度定時総会を、大学より
澤木武美様、宮陵会より大場憲治
専務理事の出席を賜り、東京第一
ホテル錦にて参加18名にて開催致
しました。

定時総会は宮崎副会長の司会によ
り定刻6時より開始、会長挨拶の
後、提出議題の審議、承認された。
次に、来賓の澤木様より大学の近
況、大場専務理事より祝辞を戴き
ました。



6月 役員会総会前の
打合せ

大阪支部総会

平成23年6月4日

- ① 総務部次長 清水 英樹
- ② 副会長 宇野 峰雪
- ③ 40名
- ④ 本年度の総会は、母校工部江上
正教授による「宇宙エレベータ」
の講演をいただきました。総会優
勝を果たした昨年の「宇宙エレベ
ータ技術競技会」に出場した現役
の院生と共に映像を交えての講演
内容で、出席者全員興味深く聴講
した。





さていただいた。

また、本年は平成卒の若手会員5名内1名は妻子同伴にての出席があり、例年にはない盛り上がりがありました。

特に懇親会では、東日本大震災への義援活動としてのチャリティビンゴゲームを実施、売上金5万円をすべて義援金として同席上で根来支部長より清水校友課長を通じて大学に託しました。

⑤ 平成23年度支部総会

6月4日(土)

2、泉州会の開催…10月6日(不) 製油(株)阪南事業所見学及び大鳴温泉にて懇親会

3、新年会の開催…平成24年2月4日(土)

4、各種同好会
① ひろく旅する会…10月21日(金)から4泊5日でパンコクへ
② スポーツ同好会…支部長杯ゴルフコンペの開催…年3回…近畿ブロック親睦ゴルフコンペに参加…10月3日(月)開催

5、宮陵会関西倶楽部の定例会…毎月第4金曜日PM6時より

※参考…昨年度は累計65名参加(6・12月は休会)

和歌山支部総会

平成23年6月25日

① 事務局次長兼財務部長 永和田隆一



② 副会長 平能 孝一
③ ホテルグランビシア和歌山 18名

④ 支部長より、支部総会出席増のために「会員への声かけ」、陸上部理事として、県内有望選手駅伝の紹介等要望がありました。

永和田事務局次長は、東北大震災に対する支援事業、新学科創設、卒業生子女の入試制度、米田奨学金等を説明されました。

⑤ 平成23年度支部総会

平成23年9月 会報神和会 発刊

平成24年1月 新年会
6月 支部総会

兵庫支部総会

平成23年7月10日

① 事務局次長兼経営政策部長 花島とみ子
② 宮陵会事務局 田口世志男
③ ホテルプラザ神戸 39名

④ 昨年と同じホテルプラザ神戸で開催した。今年も昭和12年卒留易の目下宗一郎氏が元気で出席された。然し平成卒業の会員の出席がなかった事は、誠に残念である。

懇親会の席で出席者達から、新聞雑誌等から神大の顔が見えてこない、PR不足ではないか等の声が多く出た。以前の貿易科の様に特徴のある学部が必要。



⑤ 今年も総会と新年会を中心に据え、2ヶ月に1度は役員会を開催する。

12月に開催予定のスィードスケートショートトラックの応援を兵庫支部を挙げて行う。

特に平成卒業生に力を入れて行いたい。

⑤ 奈良支部総会

平成23年10月2日

① 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武
② 宮陵会事務局 田口世志男
③ 榎原観光ホテル 7名

④ 23年度支部総会は、会員7名の参加で開催されました。10数年来同内容での開催となり、



会員から現状のままでは、支部存続の意味がない、一層廃止の方向を検討しろとの意見が出された。宮陵会本部田口様から廃止は考えられない、何らかの工夫をして継続をとの助言がなされ、支部として再度その方向に進むことを確認した。参加者の高齢化とともに現状維持も困難である。

⑤ 広島県支部総会

平成23年11月26日

① 副会長 石積 勝
② 副会長 平能 孝一
③ ホテルグランヴィア広島 105名

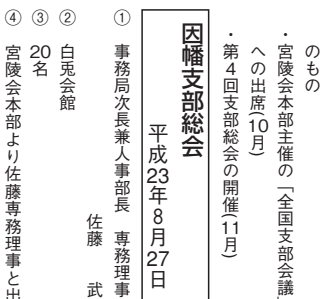
④ 当支部総会も平成23年で設立から4回目を迎え、また4年連続で100名を超える会員の皆様にご出席いただき、この誌面を借り感謝申し上げます。

⑤ 因幡支部総会

平成23年8月27日

① 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武
② 白兔会館 20名

④ 宮陵会本部より佐藤専務理事と出席



⑤ 席会員19名で開催。

佐藤様から大学と宮陵会の報告をいただいた後、箱根駅伝に期待してスポーツ振興会に賛助金を贈呈しました。

この総会で役員改選となり松島支部長が選出されました。

⑤ 島根支部総会

平成24年1月28日

① 内部監査室長 久米 信行
② 副会長 平能 孝一
③ 皆美館 23名

④ 1月28日(土)六道湖畔の皆美館で島根支部総会を開催した。宮陵会から平能副会長、大学から久米信行内部監査室長のお二人が出席、みずほ証券松江支店長の吉泉和晃



氏も参加して、総勢23人の会となった。赤水支部長が入院のため発足以降初めて欠席される中、今年の箱根での応援指導部の美談と、神大の近況を詳しく伺った後、一献。恒例となった駅伝強化を約束し散会した。

⑤ 香川支部総会

平成24年1月3日

① 事務局次長兼総務部長 勇 真一郎
② 専務理事 大場 憲治
③ ホテルニューフロンティア 40名

④ 平成24年1月3日(火)正午から香川支部総会を開催した。

⑤ 香川支部総会

平成23年 1月3日 香川支部総会神大レポート(第7号を発刊)

2月26日 丸尾幸雄会員の町長当選祝賀・激励会

東日本大震災義援金の募金・送付



(4月～5月)

- 6月18日 役員会
- 8月28日 2011日本学生トリアスロン選手権観音寺大会応援
- 9月19日 特別会員速水史朗氏の彫刻展鑑賞・アーティスト対談聴講
- 10月15日 全国支部長会議出席
- 10月16日 四国ブロック会議出席(愛媛県西条市)
- 10月17日 四国ブロック親睦ゴルフ
- 12月10日 役員会
- 平成24年
- 1月3日 香川支部総会神大レポ(ト第8号を発行)
- 5～7月 夏季親睦行事
- 8月 2012日本学生トリアスロン選手権観音寺大会応援
- 11月 四国ブロック会(高知)への参加

愛媛支部宇和島地区会
平成23年7月16日

① 宇和島国際ホテル
② 午後4時より開催、地区会長挨拶、新会長酒井氏より新任の挨拶、来賓紹介後、支部長八木氏より支部報告等があり、約1時間で閉会。終了後直ちに懇親会に移り、大いに盛り上がり楽しい2時間余りを過ごし、次回の再会を期し、散会しました。

③ 地区会開催7月中を予定

愛媛支部大洲・喜多地区会
平成23年12月15日

① 大洲市 料苑たる井
② 10名内支部長、顧問各1名
③ 創立者の出身地を主に平成9年に設立し、14年が過ぎました。

④ 今般は、支部長と顧問を含めて、10名の参加者でした。今年は、災害が多く多難で絆の大切さが見直された年でした。内子には4年前に出来た、絆公園があり、会でも絆の大切さを語り合い、来年度の母校の箱根での健闘を祈り、又元気で再会できる事を誓い散会しました。



総会地区及び懇親会年1回程度

高知支部総会
平成23年11月26日

① 秘書室長 手戸 俊彰
② 専務理事 小川 勲夫
③ ホテル日航高知旭口イヤル 28名

④ 「東海・東南海・南海地震の3連動地震への早期対応」高知県危機管理部長森部慎之介氏より高知県の地震対策大綱について講演をいただいた。

⑤ 9月8日(土)支部総会、四国ブロック会

福岡支部総会
平成23年6月10日

① 事務局次長兼総務部長 勇 真一郎
② 副会長 小川 勲夫

③ 西鉄グランドホテル



事務局次長兼総務部長 勇 真一郎



支部活動は人数が少ない為行っておりませんので、4月3日に福岡、北九州支部長に呼びかけ直方でコルフコンペを予定しており、親睦を深めたいと思っております。

北九州支部総会
平成23年11月27日

① 大学資料編集室長 澤木 武美
② 専務理事 大場 憲治
③ ホテルクラウンパレス小倉 22名

④ 今年度は、初めて日曜日の昼間12時からの総会をしました。

⑤ 平成23年 福岡支部新年会
5月28日 九州ブロック会議・佐世保大会
5月29日 九州ブロック会議・ゴルフ大会 父母懇談会
6月10日 福岡支部総会
10月15日 全国支部長会議
10月16日 大学ホームカミングデー

筑豊支部総会
平成24年2月19日

① 大学資料編集室長 澤木 武美
② 副会長 平能 孝一
③ 料亭 佐賀屋 20名

④ 年に一度の総会しか会える機会がなく、一人一人呼び掛けて今年度は2名が新しく参加してくれました。また、去年北九州支部の出席要請に応じて参加しましたが、当方の総会に4名のお返しがあり、大変楽しいそして賑やかな会となりました。話題は箱根駅伝の事ばかりでした。



支部活動は人数が少ない為行っておりませんので、4月3日に福岡、北九州支部長に呼びかけ直方でコルフコンペを予定しており、親睦を深めたいと思っております。

佐賀支部総会
平成23年7月24日

① 事務局次長 福田 俊博
② 副会長 小川 勲夫
③ グランドはがくれ 12名

④ 来賓お二人のご臨席を賜り、支部会員12人が参加しての総会となりました。

⑤ 支部の予算、決算の審議及び九州ブロック会議佐世保大会の報告等に加え、本年は、松下武志前佐賀県支部長に対する宮陵会からの功労表彰伝達が行われ、いつになく盛り上がった会となりました。

⑥ 九州ブロック会議佐世保大会への

神奈川支部総会
平成24年2月24日

① 総務部次長 能重 幸夫
② 理事 橋本 正俊

③ 参加4人参加
・支部総会(12人参加) 欠席者に資料の送付
・全国支部長会議への出席(支部長出席)
・支部会員の振り起し



事務局次長 福田 俊博

長崎支部総会
平成24年2月25日

① 総務部次長 能重 幸夫
② 理事 橋本 正俊
③ ホテルセントヒル長崎 4名

④ 前々年諫早市、前年大村市で開催し、新参加者も増えていましたが、久しぶりの長崎での総会は、4名に留まり反省会から始まり、いろいろな意見、対策が話し合われました。これを踏まえ、活性化活動として、まとめてみます。

⑤ 1、例年220通前後の総会案内を送付し、なんらかの返信者が、50名前後おられるので、この人達に呼びかけを行う。2、核になる人を作り、その人達を中心に動いていただく。3、総会案内状を送付するだけでは、参加者は増えないので、事前呼びかけ等を行う。4、以前、神奈川大学吹奏楽部の長崎公演の話がありました。このような活動刺激策を大学等にも協力をお願いしたい。

佐世保支部総会
平成24年2月24日

① 総務部次長 能重 幸夫
② 理事 橋本 正俊



事務局次長 能重 幸夫

佐世保支部総会
平成24年2月24日

① 総務部次長 能重 幸夫
② 理事 橋本 正俊



事務局次長 能重 幸夫



佐世保第一ホテル
15名

① 定刻に全員集まり、写真撮影を行い、総会議題に沿って活動報告を進めた。昨年九州ブロック佐世保大会、皆様のご協力によって無事終了したこと。10月15日の全国支部長会議報告、16日の分科会報告。引き続き会計報告。

次に総務部長から今年の学校志願者数、状況について、東日本大震災支援活動、スポーツでの活躍等々のお話を頂きました。橋本理事からは一般社団法人への移行についてお話を頂きました。

懇親会に入る前に、初参加者2名の紹介を行い、全員で歓迎いたしました。今後、できるだけ参加されることと嬉しうに宴になりました。2時間過ぎるのも早く最後に大声で校歌を斉唱してお開きいたしました。

熊本支部総会
平成24年2月18日

- ① 経営政策部経営政策課長 田島 陸浩
- ② 学修進路支援部第二部 後藤喜多郎 副会長 小川 勲夫
- ③ 鶴屋百貨店 カーネーションサロン 33名
- ④ 平成24年2月18日鶴屋百貨店カーネーションサロンにて熊本支部総会を開催しました。

宮陵会より小川副会長、大学より田島課長、後藤様をお迎えし、宮陵会活動並びに大学の近況について詳しくお話をいただきました。



総会では今年度の報告並びに次年度の計画を審議し承認をいただきました。また、33年卒の横山武典会員が支部功労者として宮陵会より感謝表彰授与、38年卒の富永征男会員が秋の叙勲で旭日双光章を受賞されましたので支部より特別表彰、平塚軟式野球部が全国大会準優勝に輝きましたので、応援の横断幕を授与いたしました。今年度のホームカミングデーにおいて46年卒の浦田剛敏会員が「熊本支部の歌」を披露目するの事で、多くのお支部会員にも参加いただくようお願いして懇親会に移りました。

⑤ 毎月第三水曜日に理事会開催及び城北、人吉・球磨・城南・天草地区会の開催

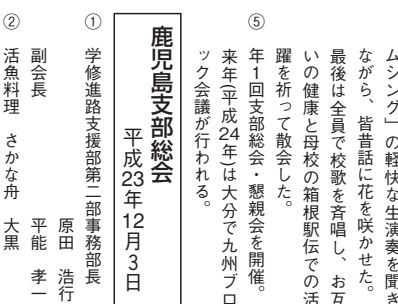
⑥ 第5回慶祝会慶祝いの会開催

⑦ 九州ブロック会議への参加、次年度熊本大会の開催準備

大分支部総会
平成23年7月9日

- ① 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武
- ② ホテルキャッスル大分 37名
- ③ 宮陵会大分支部総会、懇親会が7月9日、大分のホテルで37名の参加のもと開かれた。高橋支部長が挨拶、宮陵会専務理事佐藤氏挨拶の後、議事を進めた。
- ④ 総会終了後は懇親会、バンド「サムシング」の軽快な生演奏を聞きながら、昔話に花を咲かせた。最後は全員で校歌を斉唱し、お互いの健康と母校の箱根駅伝での活躍を祈って散会した。

来年度は、12月に入ってから開催してみたいが、結果は例年の11月開催と同じ出席人数であった。両宮会史の司会進行であり、最初の1年間に4名の会員計報に対し黙祷、会は副支部長の開会の辞、支部長挨拶、幹事活動報告、会計報告承認とスムーズに進行。次いで、平能副会長、原田支援部長により現状の話があり、中でも24年正月の箱根駅伝出場には、全員安堵の表情であった。いつもながら昔話に花がさいて、またたく間に時間が経過、出席者全員校歌を斉唱しお開きとなった。



平成23年12月3日

① 学修進路支援部第二部事務部長 原田 浩行 副会長 平能 孝一

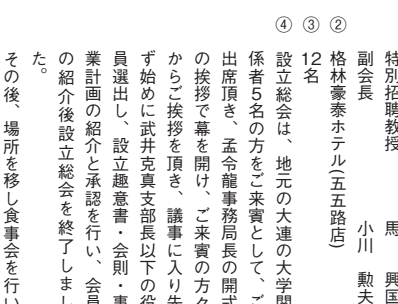
② 活魚料理 さかな舟 大黒 28名

③ 本年度は、12月に入ってから開催してみたいが、結果は例年の11月開催と同じ出席人数であった。両宮会史の司会進行であり、最初の1年間に4名の会員計報に対し黙祷、会は副支部長の開会の辞、支部長挨拶、幹事活動報告、会計報告承認とスムーズに進行。次いで、平能副会長、原田支援部長により現状の話があり、中でも24年正月の箱根駅伝出場には、全員安堵の表情であった。いつもながら昔話に花がさいて、またたく間に時間が経過、出席者全員校歌を斉唱しお開きとなった。

鹿児島支部総会
平成23年12月3日

- ⑤ 平成24年1月21日 支部新年会 10月頃 九州ブロック大分大会 11月 支部総会

特別招聘教授 馬 興国 副会長 小川 勲夫 格林豪泰ホテル五五路店 12名



平成23年12月11日

① 総務部校友課課長 清水 英樹 会長 狩野 七郎

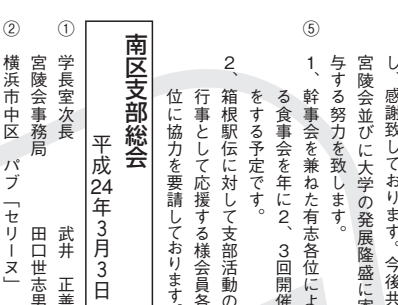
② 神奈川大学1号館ストロブナー 31名

③ 神奈川支部結成38年に渡り会員各位の協力により必ず総会を開催

神奈川区支部総会
平成23年12月11日

- ⑤ 学長室次長 武井 正善 宮陵会事務局 田口世志男 横浜市中区 バブ「セリーヌ」 20名
- ④ 総会は、和田事務局長の司会進行により開催。
- ③ 1、出席者全員の自己紹介。
- ② 2、支部長交代、新旧支部長挨拶。
- ① 3、事務局長は和田氏が留任。
- ④ 4、大学、宮陵会本部の来賓から現状と将来のお話しあり。
- ⑤ 5、岩崎前支部長より、知って得する認知症 について、プロジェクトアクラブの説明があり、中野正一氏より、箱根駅伝の今後、特に「新一年生」についてのお話しあり。

し、感謝致しております。今後共、宮陵会並びに大学の発展隆盛に寄与する努力を致します。



平成24年3月3日

① 学長室次長 武井 正善 宮陵会事務局 田口世志男 横浜市中区 バブ「セリーヌ」 20名

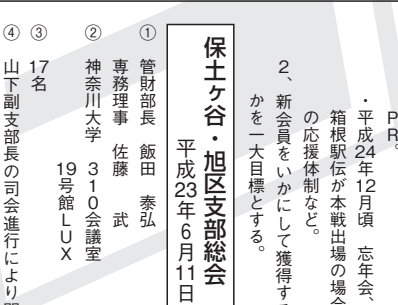
② 総会は、和田事務局長の司会進行により開催。

③ 1、出席者全員の自己紹介。

南区支部総会
平成24年3月3日

- ⑤ 1、幹事会を兼ねた有志各位による食事会を年に2、3回開催をする予定です。
- ④ 2、箱根駅伝に対して支部活動の行事として応援する様会員各位に協力を要請しております。

2、新会員をいかにして獲得するかを一大目標とする。



平成23年6月11日

① 管財部長 飯田 泰弘 専務理事 佐藤 武 神奈川大学 310会議室 19号館LUX 17名

② 山下副支部長の司会進行により開催、支部長挨拶、来賓挨拶、出席者全員の紹介後、審議し、原案どおり全て承認された。

③ 毎年、総会出席者の顔ぶれが固定化してきており、若手会員の出席が少なく危機感があります。今年度は、役員が改選され、新支部長がS39経済卒の山下力副支部長が決まり、2名の若い新副支部長がS42貿易卒下川氏とS57貿易卒杉野氏に決まり、新規会員の参加・開拓を目指していくこととなりました。

保土ヶ谷・旭区支部総会
平成23年6月11日

- ⑤ 総会後、会場を移し、盛況のうち懇親会を終りました。
- ④ 23年度事業計画
- ③ 1、会議・役員会随時開催、支部総会(6月)
- ② 2、会報またはHP開設・準備を整える。
- ① 3、親睦会・親睦旅行箱根保養所を秋頃開催する予定。
- ④ 4、本部要請・ホームカミングデー

2、新会員をいかにして獲得するかを一大目標とする。

戸塚・栄区支部総会

平成23年5月28日

- 1 への参加、箱根駅伝の応援、本部代議員会・総会への参加。
- 2 その他目的に必要な事項

- 1 内部監査室室長 久米信行
- 2 宮陵会事務局 田口世志男
- 3 神奈川大学23号館B101機械工作センター
- 4 今年度の総会を5月23日に母校にて開催いたしました。各議案は無事承認され、第2部として12号館建築学科大型構造試験機の見学をしました。普段見ることのない大型試験機を前に本会員の村井氏より説明していただきました。見学後の懇親会では、話題が尽きることなく大変有意義な時間を楽しみました。
- 5 1、箱根駅伝の応援
- 2、会報等の発行
- 3、スポーツ・文化・地域・社会活動への貢献
- 4、その他



横浜北支部総会

平成23年5月14日

- 1 図書館事務部長 堀江美由紀
- 2 専務理事（現副会長） 小川 勲夫
- 3 神奈川大学1号館502号室
- 4 14名
- 5 本年度から大学側から出席がありました。

- 1 会員の在籍数はあるが、未だアルバイト等の都合で、出席率が悪い。会員増強に努めます。
- 2 1、社会貢献としての鶴見川流域



港南区支部総会

平成23年4月17日

- 1 居酒屋 北海道
- 2 18名
- 3 当日の参加者は18名でしたが、大学の学生食堂とは違って区内の交通の便がよい場所であったため参加者から大変好評でした。
- 4 総会の議題は22年度事業報告と決算、23年度事業計画と予算、並びに会則にもとづく二年任期の役員改選が審議されました。いずれも原案どおり承認されました。
- 5 事業はほぼ計画通りの活動状況でしたが、年度末の大学主催行事への参加予定でした「全国高校生理科科学論文大賞」(全国高校生俳句大賞)のイベントが、3月11日の発生した東日本大震災の影響で中止となり参加できませんでした。
- 6 春の大岡川河川敷清掃ボランティアや創立者墓参会、正月の箱根駅伝の権太坂での南区との合同応援など、楽しく無理なく活動したことが報告された。
- 7 5月・6月 春のボランティア



西多摩支部総会

平成23年10月8日

- 1 学修進路支援第一部長 松岡 博之
- 2 専務理事 大場 憲治
- 3 立川ワシントンホテル
- 4 8名十来賓2名
- 5 駅伝予選会の応援依頼を兼ねて開催日を決めました。
- 6 総会参加者は、常連化と高齢化で低迷しています。
- 7 一方、予選会への関心は年々高まっています。
- 8 今後の支部活動は本部のご指導と会員からの提案で活動が続けていきます。
- 9 大岡川清掃
- 10 神大創立の地散策
- 11 平塚祭参加
- 12 神大フェスタ参加
- 13 日野公園墓地にて 創立者の生誕記念日墓参と清掃忘年会
- 14 箱根駅伝 南区と合同で権太坂にて応援
- 15 神奈川大学主催行事に参加
- 16 全国高校生俳句大賞ほか、全国高校生理科科学論文大賞授賞式などで著名人の講演を拝聴



南足柄支部総会

平成23年7月31日

- 1 研究支援部長 原中 和繁
- 2 副会長 平能 孝一
- 3 南足柄市女性センター
- 4 13名
- 5 この支部が発足してから、今回で13回目の総会になります。
- 6 発足にあたっては先輩諸兄の並々ならぬご努力と宮陵会本部の力添えがあったからだと考えおります。
- 7 今後も宮陵会の発展、母校の発展のために微力ながら応援したいと考えております。
- 8 南足柄支部の活動もより充実を図っていきたくと考えておりますので、引き続き、宮陵会本部の力添えをお願いします。
- 9 1、会則に基づき、名簿の整理及び会報(支部だより)の発行
- 10 2、会員相互の親睦行事の計画
- 11 3、母校の東京箱根間往復駅伝競争の応援
- 12 4、深溝市町の同窓生との交流を深め、支部の充実を図ることもに在校生との懇親を行う。
- 13 5、その他、必要に応じた事業を行う。
- 14 年1回の支部の集い(総会と懇親会開催)
- 15 箱根駅伝予選会への会員への応援依頼
- 16 本部総会や大学行事への出席
- 17 前1回の会報の編集と発行総会前
- 18 各季を目標に役員と有志による定例会開催
- 19 総会参加者と協賛費納入者への資料の送付

三浦半島支部総会

平成23年6月19日

- 1 国際センター事務部長 池原 治
- 2 副会長 小川 勲夫
- 3 セントラルホテル
- 4 41名
- 5 1、重村力神大工学部建築学科教授の記念講演会「大震災から学ぶもの」
- 6 2、4本の議案を提案・可決した総会
- 7 3、懇親会に分けて開催、一般紙で呼びかけたこともあり、講演会には会員以外の参加もありました。
- 8 支部活動年間予定
- 9 1、10月のホームカミングデー、箱根駅伝予選会応援、同本大会開催します。
- 10 2、平成23年6月の支部総会、平成24年1月の新年賀詞交換会(記念講演会も)の開催、
- 11 3、会報「三浦半島支部だより」を9月、3月の2回発行
- 12 4、ゴルフコンペ年3回、歩こう会年2回、テニス同好会の活動年1回、釣り同好会の活動年1回、2回など会員交流の輪を広げる。
- 13 5、定例会員会を平成23年度は、4月、9月、12月、3月の4回、必要に応じて臨時役員会も開催。



津久井支部総会

平成24年2月26日

- 1 平塚事務部長 鈴木 勉
- 2 副会長 宇野 峰雪
- 3 相模原市緑区
- 4 青山コミュニティセンター
- 5 9名
- 6 1、平塚事務部長鈴木次長様、宮陵会宇野副会長のご出席をいただき、津久井支部総会を開催し、終了後懇親会を行いました。総会では、平成23年度の活動および会計報告、平成24年度の活動計画、米田吉盛教育奨学金・スポーツ文化振興への寄付について等を審議しました。
- 7 大学の鈴木次長、宮陵会の宇野副会長からは、近況のお話をいただき興味のある内容で今後の支部運営に参考になりました。
- 8 1、5月27日(日)パーベキュー大会を開催します。
- 9 今年も留学生の招致に力を入



れたいと思います。
2、8月〜9月梨狩り大会を会員の田中果樹園で開催します。

茅ヶ崎・寒川支部総会
平成24年1月8日

- 1 事務局長次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武
- 2 茅ヶ崎ビルラスカラスカサロン 43名
- 3 平成24年1月8日 茅ヶ崎市長服部信明様、神奈川大学より佐藤武様、藤沢支部より秋田琢次様、間中様ほか、茅ヶ崎在住の小池栄一名誉教授のご出席をいただき、総勢43名で第3回目の総会及び懇親会を開催することができました。
- 4 当日は、昭和27年卒から平成23年卒の同窓生の老若男女が学生時代に戻って、楽しいひとときを過ごしました。
- 5 総会及び懇親会を1月に開催するとともに、神奈川大学運動部の応援をしていきます。



三洋みやも会支部総会
平成23年11月1日

- 1 副会長 平能 孝一
- 2 東京・銀座 三平酒寮 舟基 10名
- 3 三洋みやも会総会は、母体である三洋証券解散後も会員の交流の場として、年に1度開催しており、今回社宮陵会の平能副会長をお招きし、大学の近況やスポーツ・文化等各部門の活躍を伺うことができ、母校への想いを新たにいたしました。



ました。なお、今回の総会において支部長の交替が承認され、今後板頭新支部長のもと、活動を行っていくことになりました。

神奈川大学内校友会総会
平成23年6月21日

- 1 理事長 伊藤 文保
- 2 会長 狩野 七郎
- 3 神奈川大学第1号館 308会議室 30名
- 4 例年どおり、6月に総会及び懇親会を開催した。更なる支部活動の活性化のため、役員はほぼ留任となり、赤井支部長2年目を迎えることとなった。
- 5 総会は、滞りなく進行し、議案も全て承認した。懇親会は、60名を超える参加者となり、大いに盛り上がった。

横浜信用金庫支部総会
平成23年11月2日

- 1 専務理事 佐藤 武
- 2 ブリーズバイホテル 78名
- 3 毎年開催している支部総会及び懇親会を開催。
- 4 支部総会においては、会計報告等を行い、活動の承認を頂きました。また、懇親会では、参加者による

クリエイトメテック支部総会
平成23年12月3日

- 1 専務理事 宇久田 進治
- 2 厚木アーバンホテル 10名
- 3 平成23年12月3日宮陵会より宇久田専務理事様のご出席をいただき第24回支部総会を厚木アーバンホテルにて開催しました。
- 4 総会および懇親会では、宇久田専務理事様より大学や宮陵会の近況などお話しいただき、楽しく有意義な総会となりました。
- 5 年1回、支部総会および懇親会開催



神奈川大学会計人会支部総会
平成23年7月9日

- 1 理事長 伊藤 文保
- 2 工学部教授 重村 力
- 3 経済学部教授 岡村 勝義
- 4 奥山 茂
- 5 戸田 龍介
- 6 専務理事 宇久田進治
- 7 佐藤 武

クイズなどの余興で例年以上盛り上がりました。
年1回の総会及び懇親会



震災、集落の復元力と再生」というタイムリーなテーマの講演が行われた。第3部では暑い中、多くの来賓が参加して、親交を深めた。幹事会を平成22年6月1日に開催

神奈川大学社労士会支部設立総会
平成23年7月2日

- 1 副学長 橋本 宏子
- 2 法学部准教授 坂本 宏志
- 3 副会長 小川 勲夫
- 4 Sunnmi高松 伊勢佐木町店 15名
- 5 平成23年7月2日に東京・神奈川の社会保険労務士の有志が集まって支部会を立ち上げ、会員相互のコミュニケーションを密にし、会員相互の親睦を図るとともに、社会保険労務士の立場から、神奈川大学及び社団法人宮陵会の発展に寄与することを目的に発足しました。

現在会員数は、40名を数え全国規模に発展していきたいと思っております。

ります。
会員の中には、社労士会の要職に就かれている方、出版講演等で活躍されている方から平成20年卒業で昨年社労士に合格された方まで多様です。
平成23年度の事業は次のとおりです。

- 1、10月14日に兵庫県の萩原くみこ先生昭和59年卒が、橋本副学長の依頼により学生向けに講演。
- 2、11月にKUポर्टススクエアで、大野実先生(東京会副会長)が生涯学習・エクステンション講座「経営と人材戦略マネジメントを考える」を開催。
- 3、2月18日「税と社会保障の一体改革」パブリックヒヤリングに協力し、盛大に開催する。
- 4、平成24年度年度の事業は次のとおり予定しております。
- 5、7月又は9月に総会を開催する予定。今年度は、地方の先生方も参加できるように、予定日を「月刊社労士」に掲載。

みやも電華会支部総会
平成23年6月5日

- 1 熱海簡易保険加入者ホーム「かんぼの宿本館」
- 2 5名 同伴1名



三三電云支部総会
平成23年10月16日

- 1 理事 橋本 正俊
- 2 神奈川大学20号館103教室 23名
- 3 昭和33年卒業、53年が過ぎ今年度は喜寿の年齢に成り、これを契機として25年振り第5回の支部総会を開催する事となりました。
- 4 ホームカミングデーが集まりやすく、当日に致しました。
- 5 総会は、支部長挨拶、来賓挨拶、活動報告、懇談、参加者から一言写真撮影を行いました。

今回の開催にあたり94名にハガキを出しましたが、約50名の返事がなく、再度調べる予定です。



珊瑚の会支部総会
平成24年3月5日

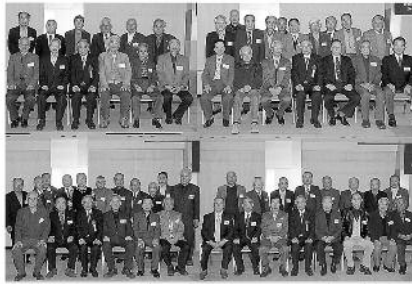
- 1 専務理事 宇久田 進治
- 2 世界貿易センタービル浜松町東京 58名



神奈川大学ボウリング部OB支部総会
平成23年11月26日

- 副会長 宇野 峰雪
- 神奈川大学1号館
- ラウンジストッパー
- 部は現在部員が少なく厳しい状態ではあるけれど、何としても部の灯火を消さないようOB会として支援して行こうと池田会長より、お話がありました。
- 総会終了後は、現役部員を交え、懇親会が開催されました。

4月・毎年開催される関東大学トーナメント(4部の試合の案内)

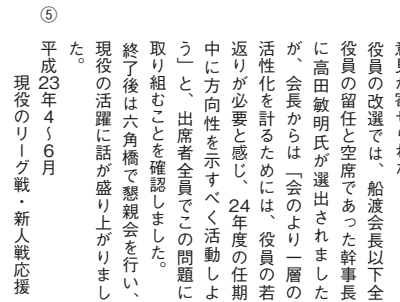


- 高齢化が進み如何に会員の少数化に歯止めをかけるかが最大の課題。
- 今回は初めて東京での総会、多少の効果があつたか、久しぶりに参加者が僅かながら増えた。
- 今後の減少にどう対応するか、全員の題として理解している。
- 1、少数化対策。
- 2、健康の維持を?
- 3、対外的に活動をどうするか



神奈川大学陸上競技部OB支部総会
平成23年6月11日

- 11月or12月 ボクシング部OB会総会
- 学長 中島三千男
- 後援会長 鈴木正太郎
- 専務理事 佐藤 武
- 第16号館第3会議室
- 19号館LUXホール
- 27名
- 平成23年度陸上競技部OB会総会は晴天に恵まれた中、OB27名の出席で開催されました。
- 当日は岐阜や和歌山など、遠方から足を運ぶOBも見られました。
- 議事終了後、神奈川大学学長中島三千男氏、社団法人宮陵会専務理事兼神奈川大学事務局長佐藤武氏、後援会長鈴木正太郎氏、陸上競技部現役部員99名を迎え、懇親会を行いました。神奈川大学学長中島三千男氏からは現役部員に向けて激励のお言葉を頂戴しました。総勢100名を超える参加者で、OB・学生との交流をもつことができました。
- 平成23年度活動計画
- 4月 日本体育大学長距離記録会 応援、横浜市民体育大会 応援、理事会開催
- 5月 第90回関東学生陸上競技対抗選手大会エントリー報告
- 6月 第43回全日本大学駅伝対抗選手権大会・関東選考会エントリー報告、同選考会応援、平成23年定例総会

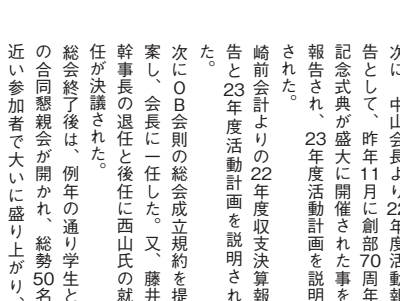


神六スケッチボール部OB支部総会
平成23年7月23日

- 副会長 平能 孝一
- 神奈川大学 1館804会議室
- 20名
- 総会には20名含む懇親会のみ参加者の出席と48名の委任通知やご意見が寄せられた。
- 役員改選のため、船渡会長以下全役員が留任と空席であった幹事長に高田敏明氏が選出されましたが、会長からは「会のより一層の活性化を計るためには、役員若返りが必要と感じ、24年度の任期中に方向性を示すべく活動しよ」と、出席者全員でこの問題に取り組みを確認しました。
- 終了後は六角橋で懇親会を行い、現役の活躍に話が盛り上がりしました。
- 平成23年4〜6月 現役のリーグ戦・新人戦応援

神奈川大学陸上競技部OB支部総会
平成23年6月11日

- 7月 第80回全日本大学陸上競技対抗選手権応援
- 8月 長距離夏季富士見合宿視察、短距離夏季菅平合宿視察
- 9月 長距離夏季霧が峰合宿視察、短距離夏季塚合宿視察、理事会開催
- 10月 第88回東京箱根間往復大学駅伝競走大会予選会報告・応援
- 11月 神奈川大学ホームカミングデー出席、横浜市民選手権大会応援
- 12月 第88回東京箱根間往復大学駅伝競走大会大走会出席
- 1月 日本体育大学長距離記録会 応援、理事会開催
- 2月 第88回東京箱根間往復大学駅伝競走大会応援、理事会開催
- 3月 第3回就職講演会OBによる現役への就職講演・個別相談会
- 4月 第4回就職講演会OBによる現役への就職講演・個別相談会
- 5月 短距離夏季大島選抜合宿視察、理事会開催

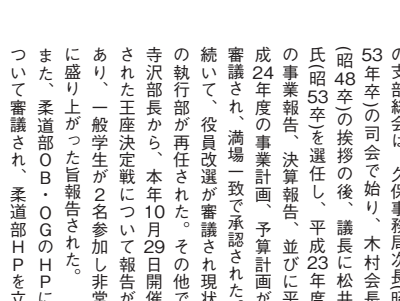


神大空手部OB支部総会
平成23年6月18日

- 宮陵会事務局 田口世志男
- 神奈川大学学生食堂2階ホール
- 18名
- 昨年同様18名のOB出席により総会が開催された。
- 宮陵会より田口事務局長がご多忙のところご出席され、大学の近況、宮陵会の役員紹介および会員数、体育会他部状況等の説明がなされた。
- 次に、中山会長より22年度活動報告として、昨年11月に創部70周年記念式典が盛大に開催された事を報告され、23年度活動計画を説明された。
- 崎前会計よりの22年度収支決算報告と23年度活動計画を説明された。
- 次にOB会則の総会成立規約を提案し、会長に一任した。又、藤井幹事長の退任と後任に西山氏の就任が決議された。
- 総会終了後は、例年の通り学生との合同懇親会が開かれ、総勢50名近い参加者で大いに盛り上がり、

神大空手部OB支部総会
平成23年6月18日

- 平成23年7月 支部総会開催
- 平成23年8月 支報発行
- 平成23年9月 役員会開催
- 平成23年9月・11月 現役のリーグ戦応援
- 平成23年12月 役員会開催
- 平成24年2月 支報発行
- 平成24年3月 役員会開催



神大柔道部OB支部総会
平成23年12月3日

- 寺沢正晴教授(柔道部部長)
- 加藤 薫教授(柔道部顧問)
- 中村真治氏 (柔道部副部長)
- 専務理事 大場 憲治
- 神奈川大学 17号館215教室
- 62名委任状を含む
- 平成23年度の柔道部OB・OG会の支部総会は、久保事務局次長昭53年卒の司会で始まり、木村会長(昭48卒)の挨拶の後、議長に松井氏(昭53卒)を選任し、平成23年度の事業報告、決算報告、並びに平成24年度の事業計画、予算計画が審議され、満場一致で承認された。
- 続いて、役員改選が審議され現状の執行部が再任された。その他で寺沢部長から、本年10月29日開催された王座決定戦について報告があり、一般学生が2名参加し非常に盛り上がった旨報告された。
- また、柔道部OB・OGのHPについて審議され、柔道部HPを立ち上げたいと考えているので、そこに情報を掲載する事で了解を得た。その後、菊池事務局次長の閉会宣言で総会を終了し、柔道部納会へと移動した。柔道部出席者は、20名であった。
- 平成24年度事業計画
- 1、会報の発行(6月発行予定)
- 2、地区総会の開催(9月・10月実施予定)
- 3、柔道部後方支援援助金贈呈・有段者に黒帯の贈呈・卒業記念品贈呈)
- 4、宮陵会活動への積極的な参加

神大柔道部OB支部総会
平成23年6月18日

- OB、学生との交流が図れた。この様な企画と努力により、近年は若手OBの参加が多くなった。
- 平成23年 役員会開催
- 平成23年9月・11月 現役のリーグ戦応援
- 平成23年12月 役員会開催
- 平成24年2月 支報発行
- 平成24年3月 役員会開催



神大レスリング部OB支部総会
平成23年11月19日

- 宮陵会事務局 田口 世志男
- 神奈川大学1号館804会議室
- 34名
- 当日豪雨で電車が不通になり、開始が1時間遅れたが、無事開催する事ができました。
- 7月中旬 OB総会、懇親会
- 10月中旬 OB会応援ツアー
- 1月中旬 納会

神奈川大学アメリカンフットボール部OB支部総会
平成23年7月9日

- 体育振興委員長 手塚 正
- 横浜ベイシエラトン
- 58名
- 今年のOB会は、3月の震災のため実施されなかつた卒業生追いつしコンパとの合同の開催となった。
- 当日は、OB会長をはじめ、後援会長、父母も多数出席し、盛大に行われた。
- 7月中旬 OB総会、懇親会
- 10月中旬 OB会応援ツアー
- 1月中旬 納会

OB活動報告

- 平成22年
 - 8月 総会準備会
 - 11月 OB会総会、受験生接待
 - 11/6
 - 12月 全日本選手権大会応援
 - 平成23年
 - 12/23 代々木、会報発行
 - 1月 山本達夫(S49卒) 第10回マスターズスリング参加

- 2月 卒業生送別会
- 2/12 あきない、宮陵会代議員会

- 4月 明治乳業杯全日本選抜選手権応援 4/30 代々木
- 5月 東日本学生リーグ戦応援
- 5月17日~5月20日 駒沢、宮陵会代議員会

⑤

- 6月 会報発行(リーグ戦)
- 7月 OB会費納入者にリーグ戦DVDを進呈
- 8月 幹事会総会準備会8/7
- 9月 総会案内
- 活動方針

- 平成23年
 - 11月 OB会総会
 - 12月 全日本選手権大会応援 会報発行(総会)

- 1月 神大体育会主催「鏡開き」出席
- 2月 宮陵会代議員会
- 4月 現役主催「新入生歓迎会」出席

①

- 5月 東日本学生リーグ戦応援、宮陵会代議員会
- 6月 会報発行(リーグ戦)
- 7月 OB会費納入者にリーグ戦DVDを進呈
- 8月 幹事会総会準備会
- 9月 総会案内

神奈川大学ラグビー部OB会支部総会

- 平成23年4月29日
- ① 事務局次長兼総務部長 勇 真一郎
- ② 理学部教授 日野 晶也
- ③ 中山キャンパス
- ④ 4月29日に中山キャンパス、体育棟に於いて総務部長勇真一郎様、理学部教授日野晶也様の出席を頂



き、例年通り開催されました。会
は、東日本大震災で被災された
方々に一分間の黙祷をして、事業
報告、事業計画を審議し、終了し
た。その後、現役対OBの親善試合は、
多数のOBが観戦する中、白熱し
たゲームが展開された。
場所を移して17時から「齊藤教授
退官慰労会」に現役部員を交え、
総勢177名で開催し、懇親を深
めた。

- ①、12回/年 役員会の開催、会
運営全般、現役部員に対する
維持支援。
- ②、会報1回/年(会員名簿1回/
2年の発行)。
- ③、会費、寄附金の徴集活動。
- ④、現役部の維持支援態勢を継続
し、試合観戦、応援・親睦をす
る中で会員相互の親睦活動、
並びに情報交換によって連帯
感を醸成する。地区OB会の
開催も目論む。
- ⑤、継続的に会員の移動情報を把
握し、住所不明者の発掘調査
活動をする。

神大卓球部OB会支部総会

平成23年11月12日

- ① 専務理事 宇久田 進治
- ② 神奈川大学10号館ラウンジ
- ③ 78名内35名は進会員
- ④ 本年度は卓球部OB会創立50周年
記念総会として、例年になく多数
会員の参加を得て開催されまし
た。宮陵会からは大変お忙しい中、
宇久田専務理事の御出席を頂けま
した。誠にありがとうございました。



ました。
総会では、支部活動状況報告、決
算等承認決定・現役活動報告の
後、現役部員35名を招いて盛大に
懇談をはかり、現役支援活動と
もに会員相互の親睦を継続してゆ
くことを確認しました。

神奈川大学体育会ヨット部OB会支部(ゼネラル)総会

平成23年11月19日

- ① 学長 中島三千男
- ② 部長教授 山下 昭子
- ③ 教授 遠藤 大哉
- ④ 教授 岡島 千幸
- ⑤ 事務局長 小林 孝吉
- ⑥ 学生生活支援部事務部長 村川 浩幸



神奈川大学工学部山岳会支部総会

平成23年10月29日

- ① 専務理事 宇久田進治
- ② 体育振興委員長 手塚 正
- ③ 藤沢市江ノ島ヨットハーバー
- ④ 9月開催予定でありましたが、台
風の為、延期しこの日に行う。し
かし、またしても台風なみの豪雨
の日となりました。
- ⑤ そんな中、新艇の進水式を行い、
その後ハーバー内でバーベキュー
パーティーを行いました。学長か
らは、この豪雨のなかの行事は忘
れられないものとなったと言われ
ておられました。

- ① 専務理事 佐藤 武
- ② 神奈川大学23号館
- ③ 18名 進会員10名
- ④ 宮陵会より佐藤武専務理事のご臨
席を賜り、第10回定期総会が神大
フェスタの日程に合わせ開催され
た。3月に予定されていたG&G
計画の第1弾であるキナバル峰遠
征が、東日本大震災の影響で7月
に延期となり、その後直ぐに8月
の第2弾である欧州アルプス遠征
と海外遠征が続いたことで、その
報告と今後の資金調達で総会の中
心議題となった。また、完成した
クライミングウォールの今後の利
用方法等も検討された。総会後、
山岳部の展示会場を訪問し、その
後は現役部員を交えて、ラックス
ホールにて懇親会となった。

- ① 現役部員の指導、育成
- ②、新入部員の確保支援
- ③、現役とOBとの懇親会、親睦



会の実施

神奈川大学硬式野球部OB会支部総会

平成23年11月12日

- ① 学長 中島三千男
- ② 専務理事 宇久田 進治
- ③ 監督 古川 祐一
- ④ 神奈川大学1号館
- ⑤ 23名

④ 毎年の総会参加者は、少数である
が、案件を全て承認し、次年度更
に現役支援の輪を広げる確認をし
て懇談会に入った。
懇親会では、現役4年次生の労を
ねぎらい、新主将をはじめとする
来期のスタッフを激励した。
学長、専務理事からは、温かいお
言葉をいただき、来期は当番校で
もあり、リーグ優勝50回目を節目
でもあるので、優勝に向けて、一
層の精進を誓って散会した。



神奈川大学写真研究部OB会支部総会

平成23年6月4日

- ① 専務理事 宇久田 進治
- ② 神奈川大学箱根保養所
- ③ 26名
- ④ 平成23年度総会も例年通り神大箱
根保養所にて開催。好天に恵まれ
緑豊かな箱根千石原に、現役4
名を含む26名が参加。

午後3時から会議を行い①年会費
の改訂②決算と予算報告③会則の
改訂④年間計画等を2時間かけて
決定。
午後6時から懇親会、午後9時か
ら「総会写真展」をプロジェクト
Iを使って行い、技術講座も実施



清輝会支部総会

平成23年6月19日

- ① 副会長 平能 孝一
- ② 神奈川大学箱根保養所
- ③ 12名
- ④ 被災地宮城県、徳島県、関東近県
より参加あり、全国分散にて少人
数の支部にて、高齢化が進み出席
者確保に悩みます。

⑤ 通常は、2年前から始めた「SNS
」によってWeb上でのコミュ
ニケーションを中心にしておりま
す。登録OBは46名で、24時間メ
ッセージと写真を投稿できます。
現在は、有料のSNSサイトを利用
しており、情報の保護にもコス
トをかけています。

- ① 本部より平能副会長の挨拶があ
り、議題に則って活動、代議員
会計報告と続き、役員選に統一全
員留任と決定し散会した。続いて
懇親会に入り旧交を温める。
② 毎年6月 定時総会、懇親会、観
光今回は湘南ひらつかキャンパス
見学
- ③ 2月 新年会、役員会